XELSIS

取扱説明書

マシンを使用する前に、付属の取扱説明書をお読みください。
また安全上のご注意を必ずお読みください。

Saeco

Xelsis-1-29.indd 1 10/05/25 20:25

一般事項

本製品は家庭向けエスプレッソマシンです。コーヒー豆を使ってエスプレッソやコーヒーを抽出するのに適しており、スチームやお湯を供給する装置も備えています。

以下に記載した原因による、損傷には責任を負いかねます。
- 本来の目的に反する間違った使用による場合
- 修理が弊社指定のサービスセンターで行なわれなかった場合
- 電源コードを改ざんされた場合
- マシンのどこかを改ざんされた場合
- オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合
- 除石灰作業を行なわなかった場合やマシンを摂氏0度以下での環境での使用、もしくは保管された場合

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。

⚠ **使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかり守ってください。**

取扱説明書の利用方法

本取扱説明書は安全な場所に保管してください。そして本エスプレッソマシンを使用される全ての方が利用できるようにしてください。さらに詳しい情報については弊社サエコサービスセンター（TEL:050-5525-7025）にお問い合わせください。

後日の参照のために、本取扱説明書はきちんと保管してください。

電源コードの取扱

- 電源コードによるねじれ、引っかかりなどを防止するため、短い電気コードを使用しています。
- 延長コードのご利用は可能ですが、ご注意の上、ご利用してください。延長コードをご使用の際は以下の事項にご注意ください。
  a. 延長コードに記載されている定格電圧が、マシンの定格電圧より大きいものをご利用ください。
  b. 延長コードは、引っ掛けたり、子供が引っ張る危険を避けるため、カウンターやテーブルより垂らさないでください。
  c. 本製品がアース付きである場合、アース付きの延長コードを使用してください。
- マルチソケットは使用しないでください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

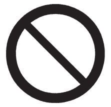
ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

● **本製品のご使用前に、取扱説明書や同梱の印刷物を必ずお読みください。**
● **取扱説明書は、すぐに取り出せるところに保管し、必要なときにお読みください。**
● **ご不明な点は、サエコサービスセンター（TEL:050-5525-7025）までご連絡ください。**

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ **注意**	誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される内容です。

絵表示の例

	この記号は「警告・注意」の内容です。 ⚠ 記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	🛇 記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

Xelsis-B5.indd 2-3 10/05/25 1:17

⚠ 警　告

電源は「15 A　125V」と記載（刻印）されている壁面のコンセントから直接お取りください。

タコ足配線をすると火災の原因になります。

電源は交流 100 Vをご使用ください。

交流 100 V以外の使用は火災の原因になります。

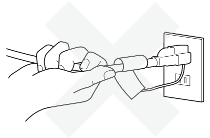
アース線を確実に取り付けてください。

アース接続をしていないと、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電する恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って引き抜いてください。差し込む時は根元までしっかりと差し込んでください。



感電、ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。

ショート、発煙、発火の恐れがあります。

電源プラグ、コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、はさみ込んだり、たばねたり、加工したり、重いものをのせたり、火気の近くで使用しないでください。

コードが破損をして感電、火災の原因となります。

本体、電源プラグ、コードを水につけたり、水をかけないでください。

感電、ショートの恐れがあります。

電源プラグやコードが痛んだり、コンセントへの差込みがゆるい時は使用しないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

使用していないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、内蔵のパーツに触れないでください。

感電、ショート、発火の恐れがあります。

子供など取扱いに慣れていない人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。

ヤケド、ケガの原因となります。

使用中は、熱を帯びる部分に手や電気コードを触れさせないでください。
（コーヒー抽出口やスチーム給湯ノズル、カップウォーマー等）

ヤケド、破損の原因となります。

スチーム・給湯ノズルの噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。

ノズルから高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、ヤケドの原因となります。

製造元が推奨する付属機器以外は決して使用しないでください。

感電、火災、破損の原因となります。

本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。

火災、故障の原因となります。

万一、異常が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電、ショート、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注　意

不安定な場所に設置しないでください。

ヤケド、破損の原因となります。

水や火気の近くで使用しないでください。また壁や家具の近くで使用しないでください。

故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。

水タンクにはお湯や熱湯を入れないでください。

製品が正常に稼働しない恐れがあります。

お手入れの前には、コンセントから電源プラグを外してください。パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。

ヤケドの原因となります。

洗剤をご利用の場合は台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でふいてください。

破損の原因となります。

マシン内部に付着した石灰質（スケール）の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を定期的に行ってください。

作業をおこたると故障の原因になります。

Xelsis-B5.indd　4-5　　10/05/25　1:18

使用後は必ずお手入れをしてください。

お手入れをおこたると故障の原因になります。

電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らさないでください。

ケガ、破損の原因になります。

屋外では使用しないでください。

高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。

感電する恐れがあります。

本製品に衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

万一、火災の場合は炭酸ガス消火器をお使いください。

水や粉末消火器は使用しないでください。

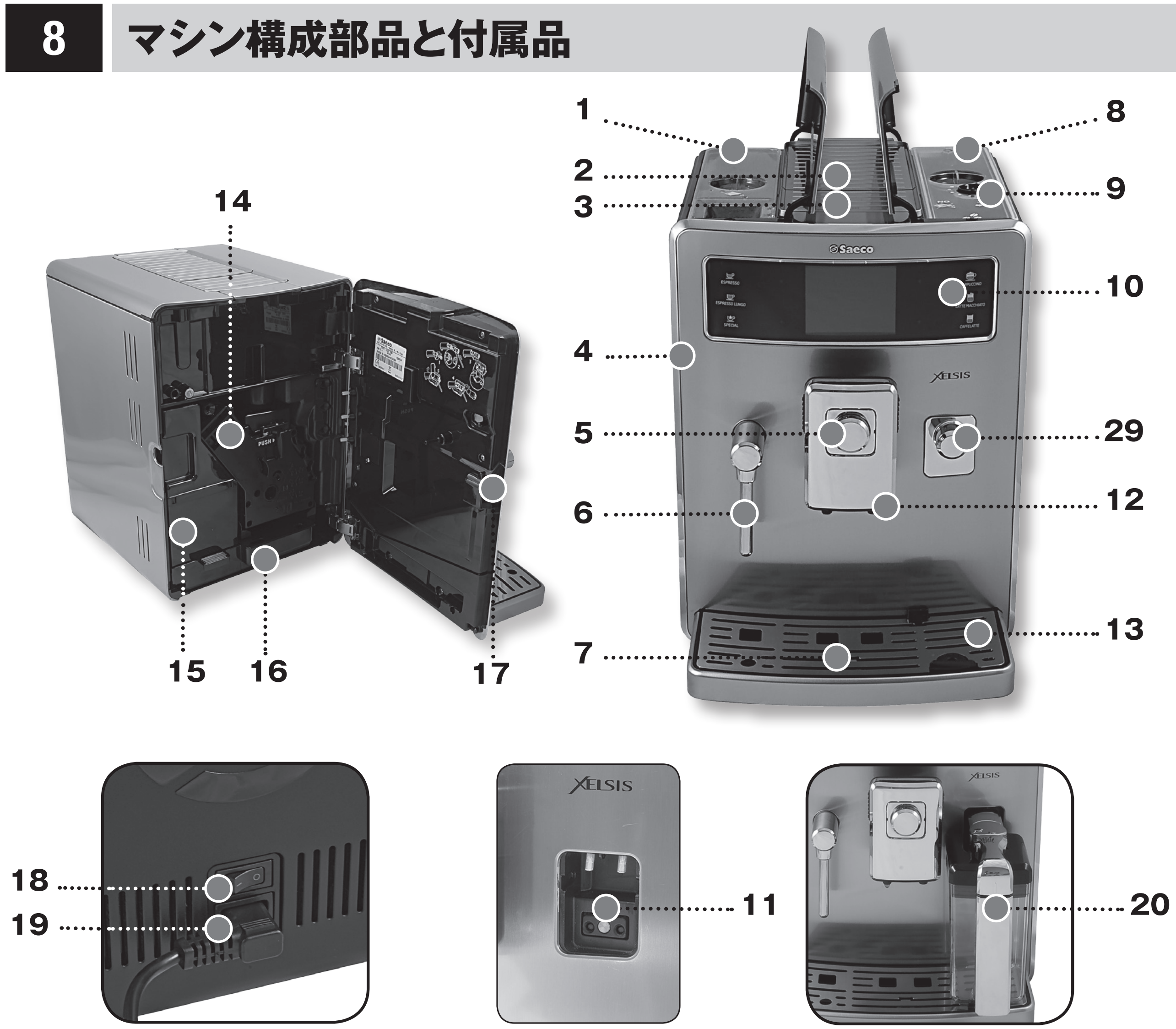
設置場所

- 安定した丈夫で平らなところに置いてください。
- 水のかかる場所には置かないでください。
- 温度10℃～40℃、湿度90%以下の環境で使用してください。
- 0℃以下になる場所で使用する場合、弊社技術・流通センターまでご相談ください。安全点検を行います。
- 湿気が少なく、風通しのよいところに置いてください。
- 火気のある場所、ほこりっぽいところ、オイルミストが浮遊する場所では使用しないでください。
- 本製品を他の機器の上に置かないでください。
- 熱源の上に置かないでください。また熱源の近くに置くときは10cm以上離してください。
- 可燃物、危険物の近くに置かないでください。

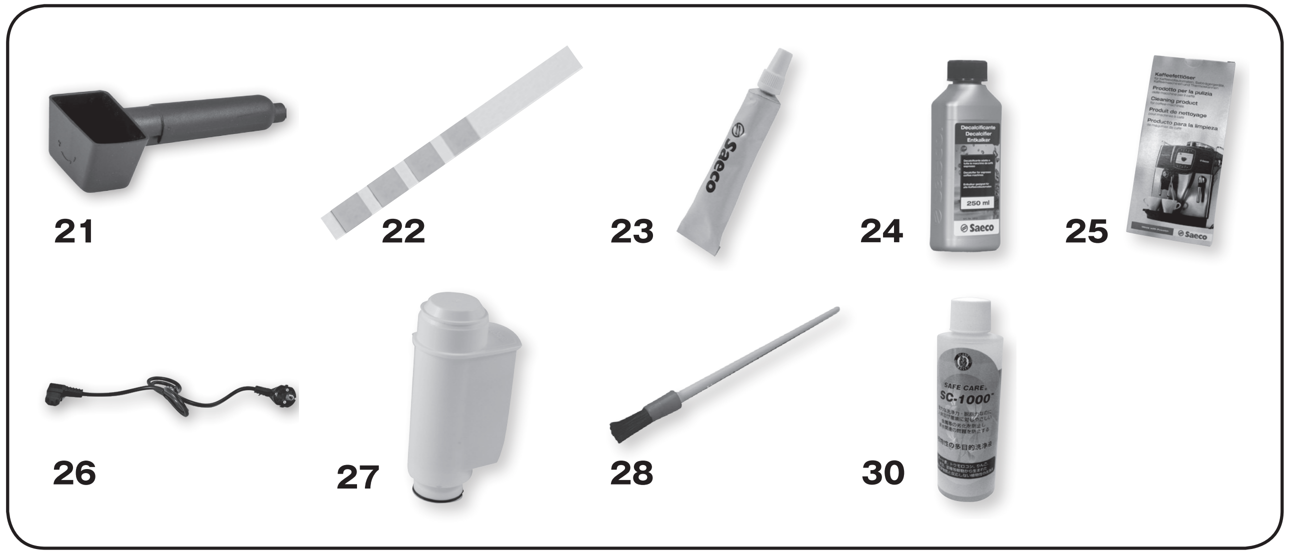
目次

一般事項 ……… 2
安全のご注意 ……… 3
目次 ……… 7
マシン概要と付属部品 ……… 8
　コントロールパネルの説明 ……… 9
設置 ……… 10
　言語設定 ……… 11
　初めての使用と長期間使用しなかった場合 ……… 12
　インテンザ浄水フィルター ……… 13
コーヒーを入れる前の調整 ……… 14
　ユーザーの設定 ……… 14
　サエコ調整システム ……… 15
　コーヒーグラインダー挽き粗さ調整 ……… 15
　コーヒー抽出口の調整 ……… 16
　一杯あたりのコーヒー豆量の設定 ……… 17
　スタンバイモード（節電機能）の設定 ……… 17
コーヒーの抽出と量の設定 ……… 18
　エスプレッソ／コーヒー ……… 18
　コーヒー抽出口の調整 ……… 18
　粉末コーヒーによるコーヒー抽出 ……… 19
ミルクカラフェの使用 ……… 20
　カラフェの取外し ……… 21
ミルクメニューの抽出 ……… 22
　ミルクメニューの抽出／カプチーノを入れる ……… 22
　クリーニングサイクル ……… 23
給湯と量の調整 ……… 24
ビバリッジメニュー ……… 25
　スチーム機能 ……… 25
　アメリカンコーヒー ……… 26
　ホットミルク ……… 26
　エスプレッソマキアート ……… 27
ミルクメニューの抽出量の設定 ……… 28
ユーザーメニュー ……… 29
各メニューの設定 ……… 31
マシンメニュー ……… 34
　共通設定 ……… 35
　ディスプレイ設定 ……… 36
　カレンダー設定 ……… 37
　水の設定 ……… 39
　メンテナンス設定 ……… 40
クリーニング ……… 41
　各部のクリーニング ……… 41
　ミルクカラフェのクリーニング ……… 42
　ミルクカラフェの分解クリーニング ……… 44
　ミルクカラフェの組み立て ……… 45
　そのほかのクリーニング ……… 46
　ブルーイングユニットのクリーニング ……… 47
　グリースの添付 ……… 47
メンテナンス ……… 48
　ブルーイングユニットの水経路のクリーニング ……… 48
　ボイラーの徐石灰作業の実施 ……… 49
マシンメッセージ ……… 52
安全規則 ……… 54
保証とアフターサービスについて ……… 56
技術データ ……… 58

Xelsis-B5.indd 6-7　　10/05/25 1:18



付属品

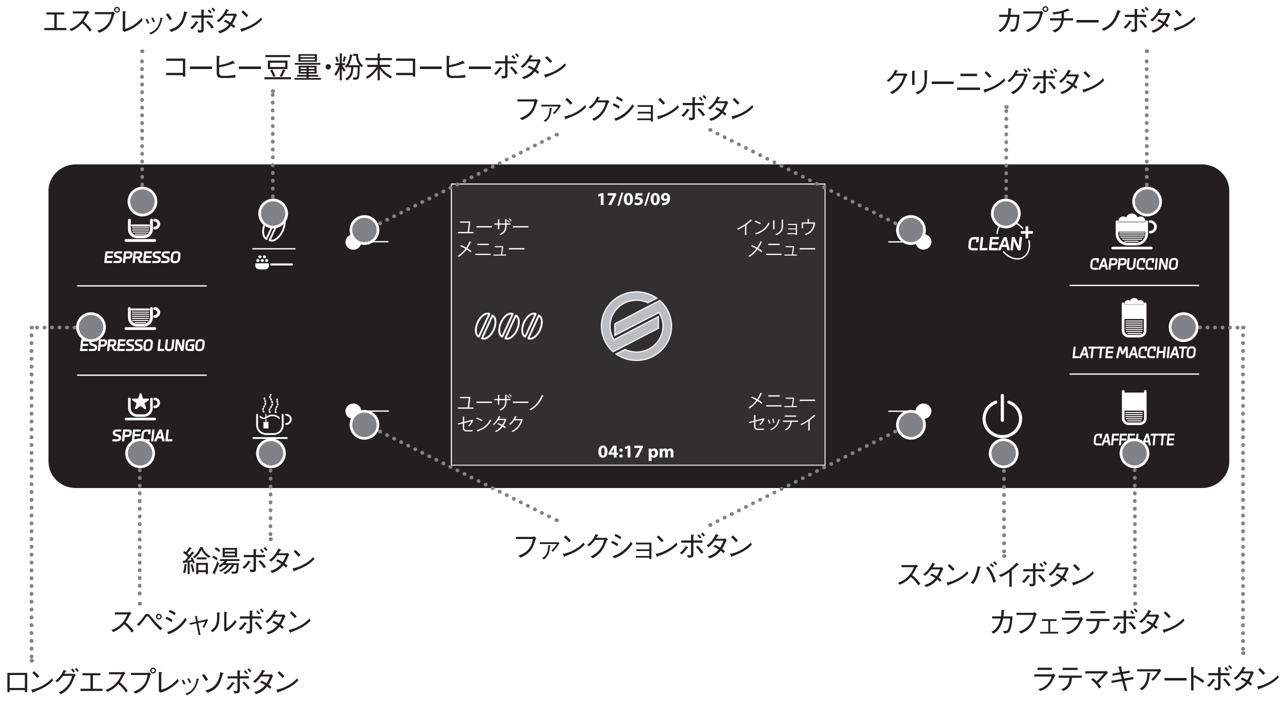


マシンの概要と付属品

1. 水タンクと水タンクフタ
2. カップウォーマープレート
3. 粉末コーヒー投入口
4. サービスドア
5. SBS（コーヒー濃度調整）ダイヤル
6. スチーム・給湯ノズル
7. ドリップトレイ浮き
8. 豆容器と豆容器フタ
9. 豆の挽き粗さ調整ダイヤル
10. コントロールパネル
11. ミルクカラフェノズル
12. コーヒー抽出口
13. ドリップトレイと目皿
14. ブルーイングユニット
15. カス容器とカス容器カバー
16. ドレイントレイとドレイントレイフタ
17. サービスドアボタン
18. 電源ボタン
19. 電源コードソケット
20. ミルクカラフェ
21. 粉末コーヒー用メジャースプーン
22. 水硬度測定紙
23. ブルーイングユニット用グリース
24. デカルリキッド
25. クリーニングタブレット
26. 電源コード
27. インテンザ浄水フィルター
28. クリーニング用ブラシ
29. カラフェノズルキャップ
30. 洗浄液SC-1000（サンプル品）

コントロールパネル

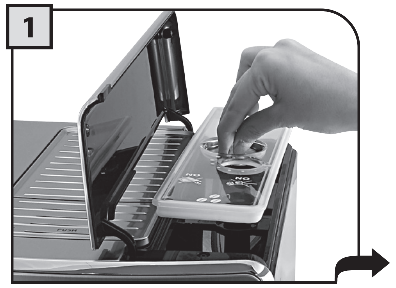
このコントロールパネルは、すべての機能を使いやすいように設計されています。



セットアップ

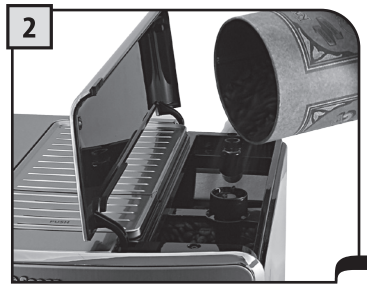
本製品の電源を入れる前に、マシン背面下の電源ボタンが”0”の位置にあることを確認してください。

1



右上のカバーを開き、豆容器フタを外してください。

2

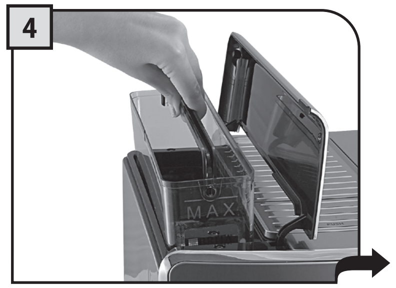


豆容器に豆をゆっくり入れてください。豆容器フタを元に戻し、カバーを閉めてください。

3

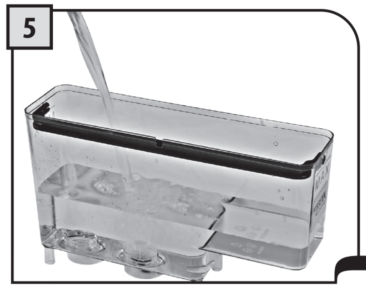
左上カバーを開き、水タンクフタを外してください。

4



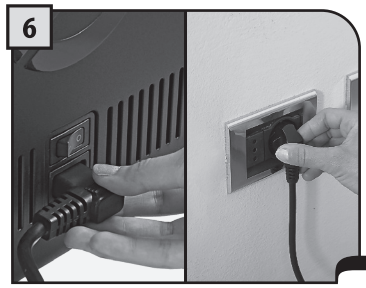
水タンクのハンドルを握り、水タンクを取り外してください。

5



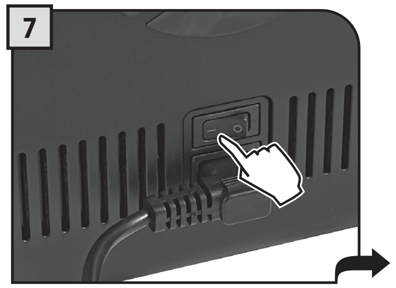
水タンクに新鮮な水を入れてください。“MAX“ライン以上に水を入れないでください。水タンクをマシンに戻します。

6



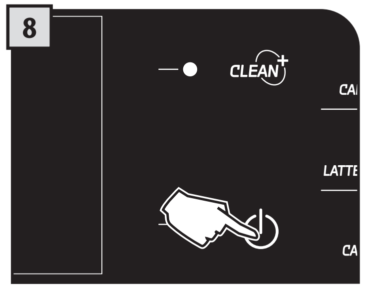
本製品の背面にある電源コードソケットに電源コードを差し込み、プラグをコンセントへ差し込んでください。

7



電源ボタンを“I”位置に押し、マシンの電源を入れてください。

8



ディスプレイのLEDランプが赤い点滅を繰り返します。
スタンバイボタンを押し、マシンを起動してください。

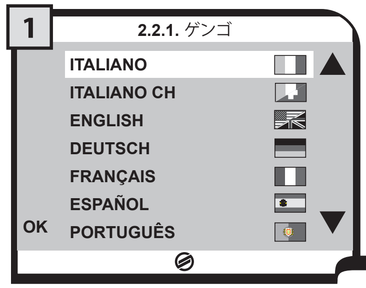
適温になると、マシンは内部水経路の自動すすぎを行い、コーヒー抽出口より少量の水が出ます。自動ススギが終了するまでお待ちください。
コントロールパネルのディプレイにメニュー画面が表示されます。

初めて電源を入れたときのみ、ディスプレイに言語設定画面が表示されます。
日本国内では、出荷前点検時に日本語へ設定していますので表示できません。

言語設定

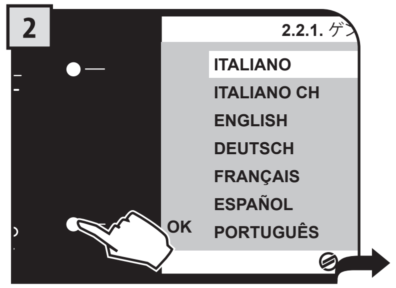
言語を設定することができます。言語設定により、設定した国の代表的なメニューのパラメーターを自動的に変更します。言語設定が行われない場合、次回の起動時に、言語設定メニュー画面が出ます。日本国内では出荷前点検時に日本語へ設定していますので、3から表示が開始されます。

1



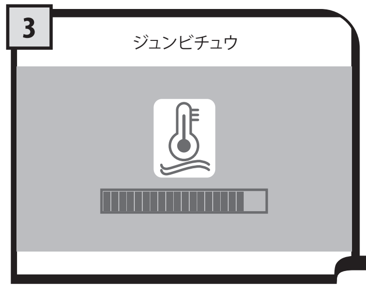
図の矢印がついたボタン (▲) あるいは (▼) を押すことで、言語を設定してください。

2



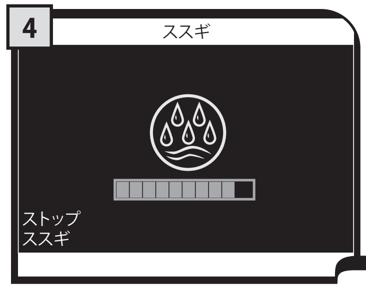
保存ボタンを押してください。

3



マシンがウォーミングアップを開始します。ウォーミングアップが終了するまでお待ちください。

4

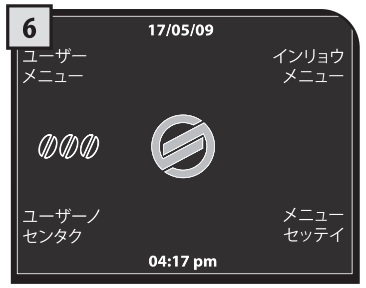


ウォームアップが終了すると、内部水経路のすすぎを行います。“ストップススギ”ボタンを押すことで、自動すすぎを停止することができます。

5

少量の水がコーヒー抽出口より抽出されます。すすぎが終了するまでお待ちください。

6



マシンの使用準備が整いました。

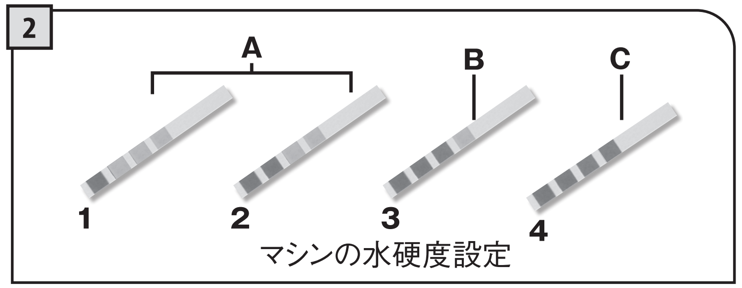
水の硬度を設定する

水硬度測定紙は、1回しか使用できません。

1

マシンに付属している水硬度測定紙をマシンに使用する水に1秒間浸してください。

2



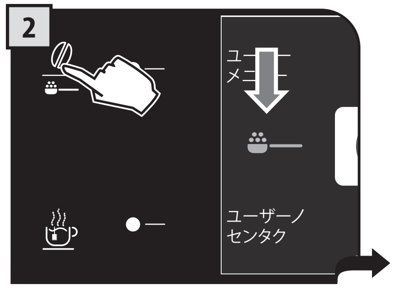
水硬度測定紙より水の硬度値を確認し、メニューセッテイボタンを押し、マシンセッテイ画面よりミズノコウドを設定してください。（P39水の設定を参照）

始めての使用と– 長期間使用しなかった場合

本製品をはじめて使用する場合と長期間使用しなかった場合は、以下の手順を実施してください。

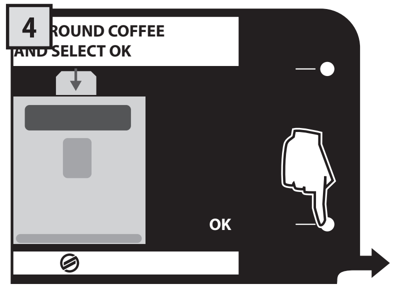
お気に入りのコーヒーをお楽しみいただくため、いくつかの簡単な操作が必要になります。

コーヒー抽出口の下に大きな容器を置いてください。



パウダーアイコンが表示されるまでボタンを数回押してください。

ロングエスプレッソボタンを押してメニューを選択してください。

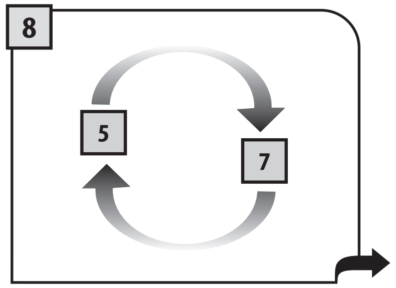


粉末コーヒーを入れずに“OK”ボタンを押してください。コーヒー抽出口より水が出ます。

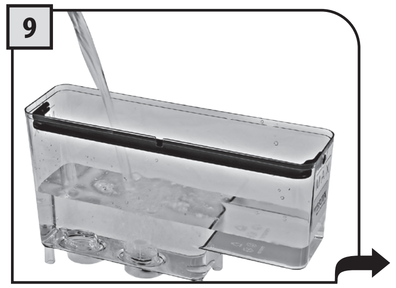
コーヒー抽出口のすすぎが終了したら、容器を取外し、スチーム・給湯ノズルの下に置いてください。

給湯ボタンを押してください。スチーム・給湯ノズルよりお湯が出ます。

終了後、容器を取外し空にしてください。



ステップ5から7までの手順を水タンクが空になるまで繰り返し行なってください。

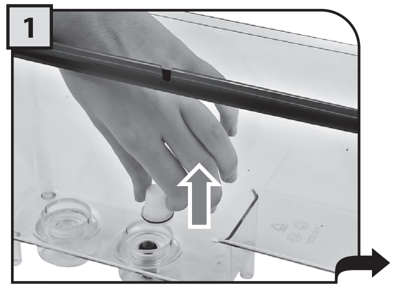


水タンクに新鮮な水を入れてください。お気に入りのコーヒーを抽出する準備が整いました。

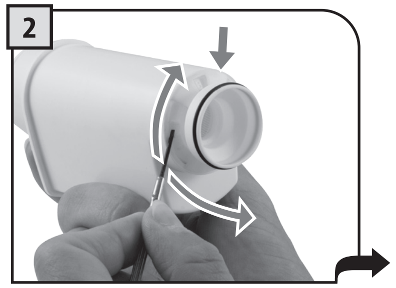
インテンザ浄水フィルター

使用する水の品質をよくし、マシンの寿命を長持ちさせるために、浄水フィルターの取付けを推奨します。取付け後、浄水フィルターの設定に進んでください。設定すると浄水フィルターの交換時期を知らせます。（P39の水の設定を参照）

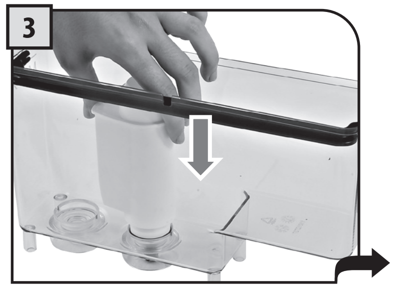
浄水フィルターをパッケージから取出し、逆さに（開口部を上に）して水の中に入れ、側面を軽く押して気泡を追い出してください。



水タンクの底にある白いフィルターを取外し、ホコリが付着しないように乾燥した場所に保管してください。



インデンザろ過レベルを設定します。
A=軟水
B＝中程度（標準的な水）
C=硬水

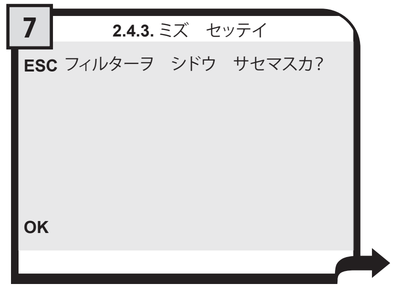


空の水タンクにインテンザを取り付けてください。インテンザのマークと水タンクの溝を合わせて挿入し、しっかりと押し込んでください。

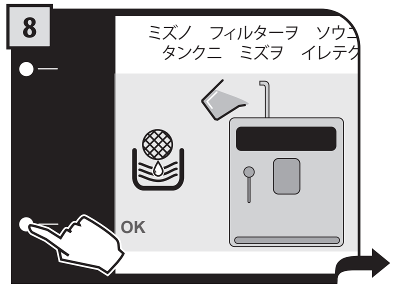
水タンクに新鮮な水を入れ、マシンに取付けます。

スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。

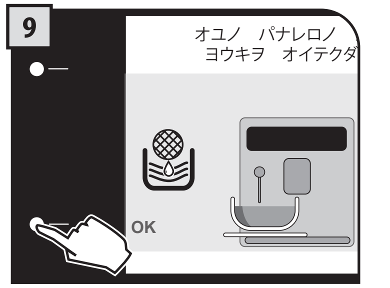
“メニューセッテイ”ボタンを押し、“ミズ　セッテイ”を選択し、“フィルターノ　シドウ”で“OK”ボタンを押してください。



上記画面で“OK”ボタンを押してください。



“OK”ボタンを押し、新しい浄水フィルターが挿入されたことを確認してください。



確認のため、“OK”ボタンを押してください。サイクルが終了後、容器を取り外してください。

注意:この手順を終えた後は、ディスプレイが自動的に初期メニュー画面に戻ります。
インテンザ浄水フィルターを装着しない場合は、取外した白いフィルター（手順1を参照）を水タンクに挿入してください。

コーヒーを入れる前の調整

ユーザーの設定

本製品は最大6人のユーザーがそれぞれのお好みのメニューを設定することができます。

使用ユーザーをいつでも追加・削除でき、個々のユーザーが簡単に識別できるようにコントロールパネルのディプレイ中央に各ユーザーに対応したアイコンが表示されます。

徹底した市場調査に基づき工場出荷時に各メニューの設定をしています。この設定をそのまま使用することも、お客さまのお好みに合わせて設定することも可能です。

新規ユーザーを設定し、メニュー設定を登録するには、取扱説明書の29ページの“ユーザーメニュー”をご参照ください。

一度、メニュー設定を登録すれば、設定したユーザーは、メインメニューの“ユーザーセレクト”ボタンからアクセスし、お好みのコーヒーをボタンを1回押すだけで楽しむことができます。

コーヒーグラインダー挽き粗さ調整

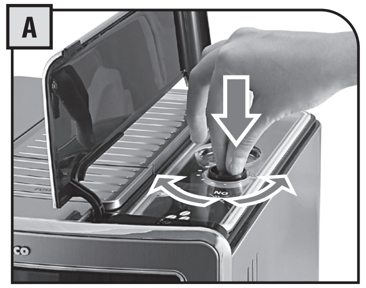
使用するコーヒー豆の種類に合わせてコーヒーグラインダーの挽き粗さを調整できます。

注意:コーヒーグラインダーの挽き粗さ調整は、グラインダーが回転されているときに行なってください。調整作業は最初のコーヒー豆グラインド中に行ないます。

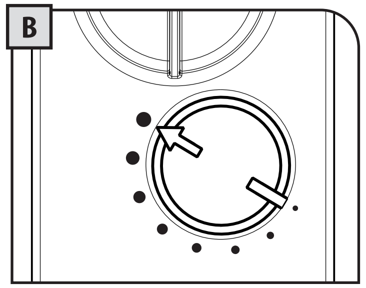
挽き粗さの調整は、豆容器内の挽き粗さ調整ダイヤルで行います。

豆容器フタに表示されている目印に従い、挽き粗さ調整ダイヤルを押しながら回してください。

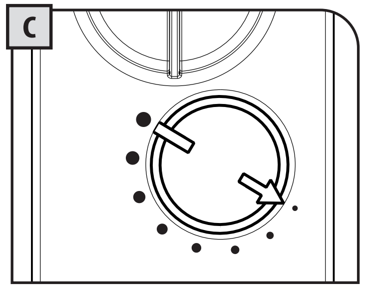
挽き粗さ調整ダイヤルは1度に1目盛りずつ回し、2～3杯のコーヒーを抽出して味の変化を確認してください。



押しながら回します。



粗挽き



細引き

Xelsis-B5.indd 14-15 10/05/25 1:18

コーヒー抽出口調整

コーヒーを抽出する前に、カップの種類によって抽出口の高さを調整することができます。

調整するには、図のように抽出口の左右を手で持ち上下に動かしてください。

小さいカップ

大きいカップ

コーヒー抽出口を手前に引き取り外すと、より大きなカップを使用することが出来ます。

コーヒーの濃さの調整（SBS）

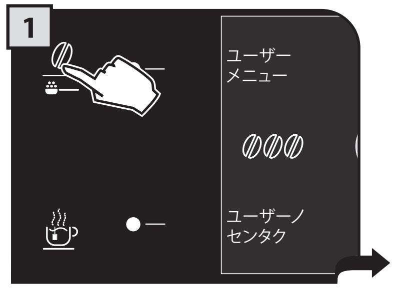
SBS – サエコブルーイングシステム

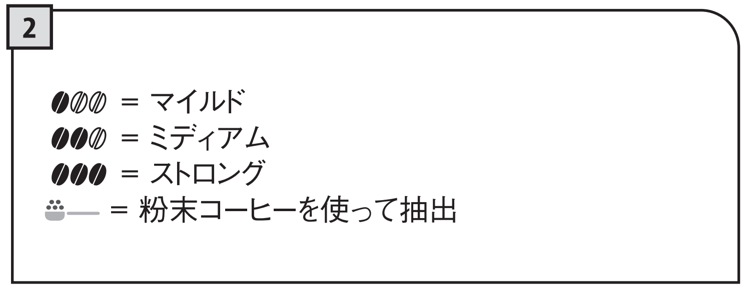
SBSダイヤルを回すだけで抽出するコーヒーの濃度を、マイルド・ミディアム・ストロングに無段階で調整できます。
コーヒー抽出している途中でも、SBSダイヤルを回せばすぐに選んだ味わいになります。

一杯あたりのコーヒー豆量の設定

各メニューごとにコーヒー豆量を、抽出前に設定することができます。

コーヒー豆量を一時的に変更する場合は、コントロールパネルの " " ボタンを押してください。





注意:アメリカンコーヒーを抽出する場合は、この設定は利用できません（P31の“各メニューの設定”を参照のこと）

スタンバイモード（節電機能）の設定

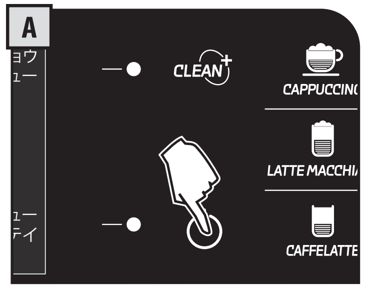
電源が入ったまま180分間、何も使用しなかった場合、節電機能が作動し自動的にボイラーの加熱と全ての電源が切れ電源消費量は最低まで下がります。
再び使用を開始するには、コントロールパネルのスタンバイボタンを押すか、いずれかのボタンを押してください。
ボイラーが冷え切っている場合は解除後、立ち上げ時と同様に自動洗浄を行います。
また、スタンバイボタンを3秒以上押し続けると、手動でスタンバイモードへ切り替えることも出来ます。

注意:

1. **スタンバイモードは、サービスドアが開けたままでは作動しません。**
2. **スタンバイモードの作動時間は、P37の“カレンダー設定”で変更することができます。**

再度、使用を開始するには次の操作をしてください。

1. コントロールパネルのいずれかのボタンを押す。
2. サービスドアを開ける（ドアを閉じるとスタンバイモードになります）
3. 設定したパワーオンタイマーが作動した場合



スタンバイモード中は、コントロールパネルのLEDが赤点滅になります。

コーヒーの抽出と量の調整

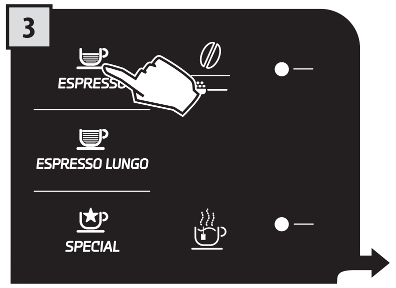
エスプレッソ/コーヒー

この手順は、エスプレッソの抽出手順です。通常のコーヒーを抽出する場合は、エスプレッソ以外のボタンを押してください。大きなコーヒーカップを準備しコーヒーがこぼれないように注意してください。

カップ2杯のコーヒーを抽出するには、ボタンを2回連続で押してください。1杯目は通常の半分の量を抽出し、2杯目の抽出の準備のために抽出を一時中断しますが、自動的に2杯目の抽出を始めます。

コーヒー抽出口の高さを調整し、カップを置きます。2杯抽出する場合は、2個のカップを置いてください。

通常のコーヒーなどを抽出する場合は、大きなカップを置いてください。



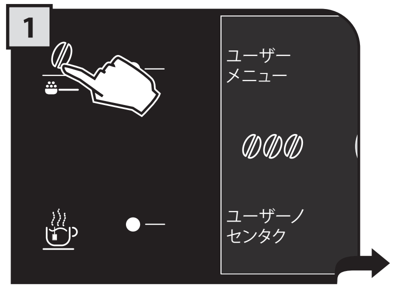
各コーヒーボタンを押してください。1杯の場合は1回、2杯の場合は2回連続で押します。

設定された1杯あたりのコーヒー豆量を挽きます。

設定された1杯あたりのコーヒー抽出量を抽出します。

抽出を途中でやめたい場合は、”ストップコーヒー”ボタンを押してください。

コーヒー抽出量の調整



コーヒー粉量設定ボタンを押しお好みの豆量を設定します。

抽出量の調整したいコーヒーボタンを3秒以上長押ししてください。コーヒーの抽出が自動的に始まります。

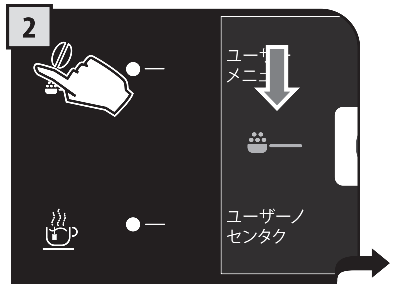
アイコンに“MEMO”と表示され、お好みの量で“ストップコーヒーボタン“を押してください。抽出された量が記憶されます。

粉末コーヒーによるコーヒー抽出

粉末コーヒーは、マシン上部の投入口に入れます。エスプレッソ用粉末コーヒーのみを使用してください。決して豆またはインスタントコーヒーを投入しないでください。

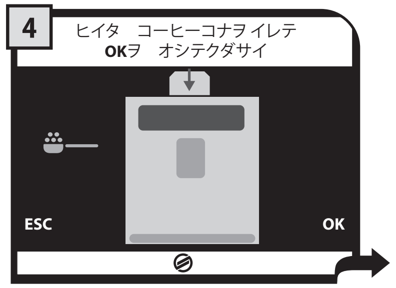
一度に抽出できるのは1杯だけです。付属のメジャースプーンですりきり1杯を入れてください。

コーヒー抽出口の高さを調整し、カップを1つ置きます。

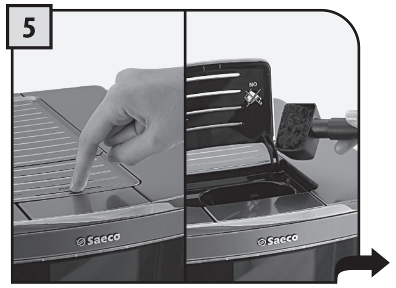


粉末コーヒーのアイコンがディスプレイに表示されるまでボタンを数回押してください。

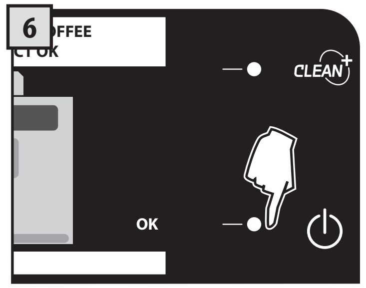
お好みのコーヒーボタンを押してください。



ディスプレイに、粉末コーヒーを投入口に入れるように表示されます。



粉末コーヒー投入口を押し開いてください。粉末コーヒーを、付属のメジャースプーンを使って投入口に入れてください。



“OK”ボタンを押すとコーヒーを抽出します。

警告

エスプレッソ用粉末コーヒーのみを投入口に入れてください。
1回にメジャースプーンすり切れ1杯のみの粉末コーヒーをいれて下さい。それ以上入れるとマシンの故障の原因となります。2杯分の粉末コーヒーを入れて抽出することはできません。

注意

- ステップ4のメッセージが表示されてから30秒以内に抽出が始まらなかった場合、メインメニューに戻り、投入された粉末コーヒーをコーヒーカス容器に排出します。
- 投入口に粉末コーヒーが投入されなかった場合、お湯のみが抽出されます。
- 粉末コーヒーの投入量が多すぎる場合、また、メジャースプーンすりきり1杯以上の粉末コーヒーを投入した場合、コーヒーを抽出せず粉末コーヒーは、コーヒーカス容器に排出されます。

Xelsis-B5.indd 18-19
10/05/25 1:18

ミルクカラフェの使用

おいしいカプチーノやラテマキアートなど様々なミルクメニューが抽出でき、ふわふわのミルクフォームを簡単に作ることが出来るミルクカラフェが標準で付属されています。

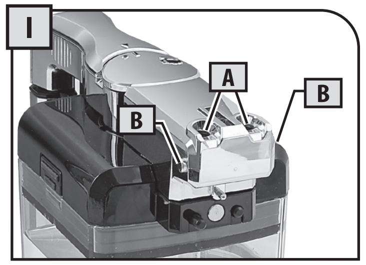
注意:カラフェをご使用前に、よく洗浄して清潔にしてください。カラフェにミルクが残っている場合、生ぬるく不衛生でないか確認してください。

カラフェは簡単に取り外せ、冷蔵庫に収納することが出来ます。いつでも冷えたミルクからミルクフォームを作ることが出来ます。

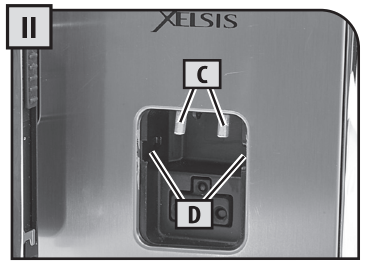
使用するごとにハンドル(パナレロ)を元に戻せば、ミルクラインが自動クリーニングされます。“CLEAN”ボタンを押すことで手動クリーニングもできます。

カラフェは構成部品を良く洗浄し、最良なミルクフォームが出来るよう清潔に保ち、最低1日1回は取外して洗浄してください。

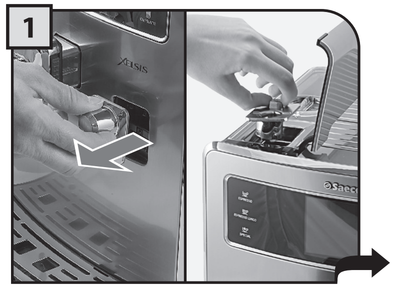
注意:1日以上、カラフェにミルクを入れて冷蔵庫へ保管しないようにしてください。



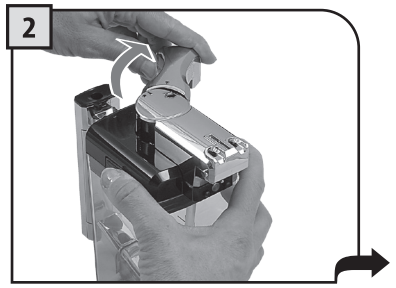
A=カラフェ穴
B=カラフェピン



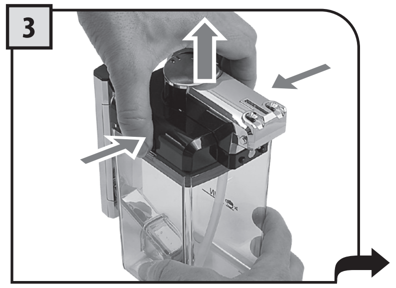
C=ミルクカラフェノズル
D=カラフェピンガイド



ミルクカラフェノズルから保護キャップを取外し、清潔な場所に保管してください。
紛失防止の為に、写真のように水タンクのフタにキャップを入れることを推奨します。

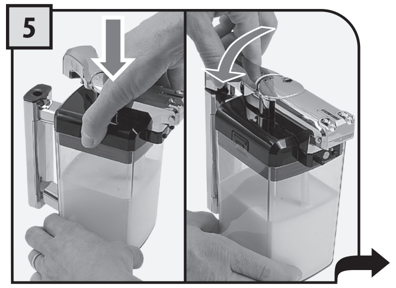


ハンドル(パナレロ)を時計方向に回し、ロックを解除してください。



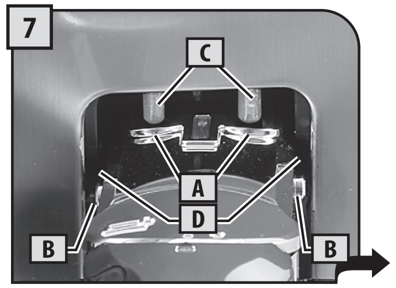
左右のボタンを押しながら上に持ち上げてフタを取外してください。

カラフェに冷えたミルクを入れてください。ミルクは、カラフェに表示されている”MIN“と”MAX”のラインの間になるように入れてください。

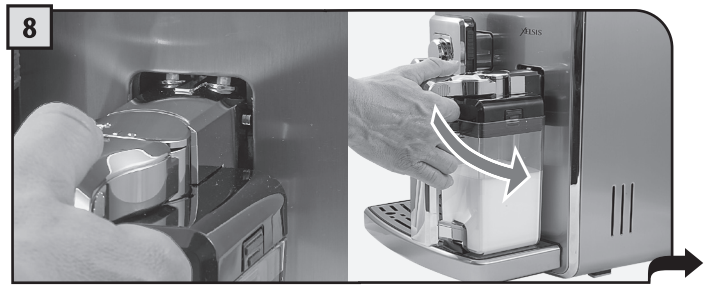


フタを元に戻し、密閉されていることを確認してください。ハンドル(パナレロ)を中央の位置に戻してください。

カラフェを前方に傾けて挿入してください。



この段階では、カラフェの穴(A)は、カラフェノズル(C)よりも下にあります。
カラフェピン(B)は、ガイド(D)と同じ位置にあります。



このままグッと奥へ押し込み、カラフェの底をドリップトレイの穴にはめ込みます。
”ピーピーピー”と音がすればセット完了です。

カラフェの取外し

以下の手順に従ってカラフェをマシンから取り外します。

⚠ カラフェを無理に傾けようとしないでください。

カラフェの底を手前に持ち上げるようにドリップトレイの穴から外れるまで引上げて、外してください。

注意
- 使用後は、カラフェをマシンから取外し冷蔵庫へ保管してください。
- カラフェを室温に長時間放置せず、使用後10分以内に冷蔵庫へ保管してください。
- ミルク製造元の指示に従い冷蔵保管し、賞味期限以降は絶対に使用しないでください。
- 1日以上、カラフェにミルクを入れたまま冷蔵庫へ保管しないでください。
- 1日1回は”ミルクカラフェのクリーニング”(P42参照)を行いカラフェを洗浄してください。

Xelsis-B5.indd 20-21 10/05/25 1:19

ミルクメニューの抽出／カプチーノを入れる

警告 **ミルクを抽出する前に、ミルクやスチームが噴射する場合があります。ミルク抽出が始まったらカップなどの噴射口周辺に手や顔を近づけたり、触れないで下さい。ヤケドの原因になります。ミルク抽出や自動ススギが終了するまで必ず待機してください。途中でカラフェを取外すとヤケドの原因になります。**

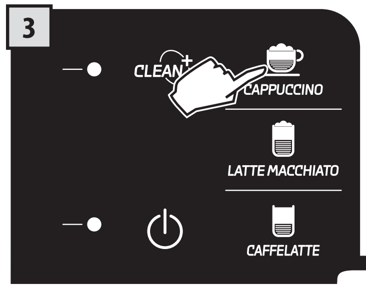
ミルクメニューを抽出する場合、ミルクを先に抽出し、コーヒーを抽出します。カップ2杯分を抽出することはできません。

1

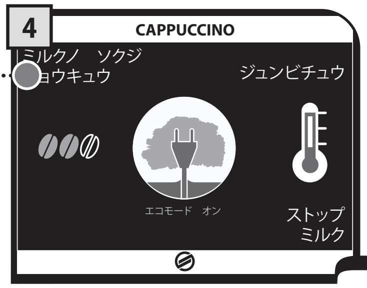
ミルクメニューを入れるカップを置いてください。

2

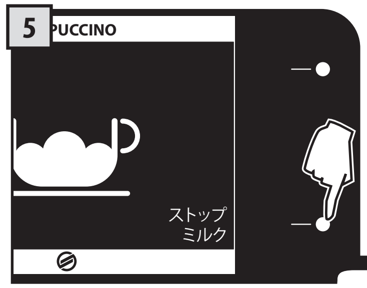
カラフェのハンドル（パナレロ）を時計方向へ回し抽出ポジションにします。セットされると“ピーピーピー”と音が鳴ります。

3


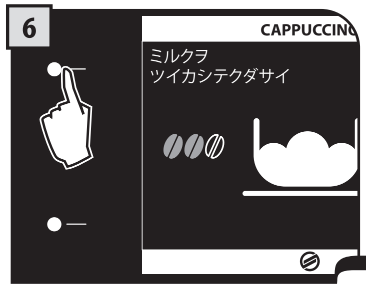
お好みのミルクメニューのボタンを押してください。1回に抽出できるミルクメニューは1種類のみです。

4


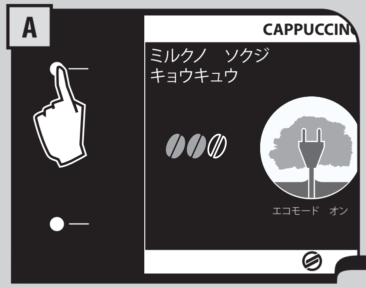
抽出を開始します。コーヒー豆を挽き、ミルク抽出のためボイラーを加熱します。
この時は、エコモード機能が“ON”になっています。

5


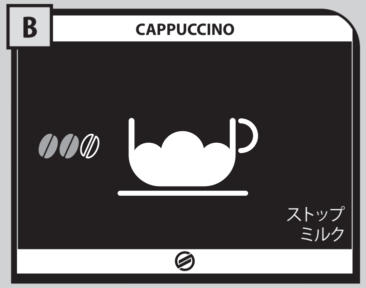
ミルクの抽出を始めます。“ストップミルク”ボタンを押すことでいつでもミルク抽出を中断できます。

6


“ミルクヲツイカシテクダサイ”ボタンを押すことで、ミルクの量を増やすことができます。

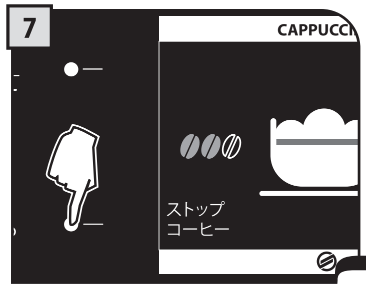
A


”ミルクノソウジキュウキュウ”ボタンを押すとエコモードが”OFF”に設定変更されます。

B


エコモード機能が”OFF”の場合、コーヒーを抽出するボイラー加熱時間が短縮されますが、消費電力は増加されます。

エコモード機能の再起動は、”マシンメニュー“からのみ設定することが出来ます（P35参照）

7


ミルクの抽出が終わると、コーヒーの抽出を始めます。コーヒーの抽出は、”ストップコーヒー”を押すことで中断することができます。

8

終了後、カプチーノが入ったカップを取り外し、カラフェのハンドル（パナレロ）を中央の位置に戻します。

9
数秒経過すると、カラフェは自動クリーニングを開始します。

クリーニング終了後、ミルクカラフェを取り外し、冷蔵庫で保管します。

クリーニングの最中にカラフェハンドルに触れないでください。ヤケドの原因になります。

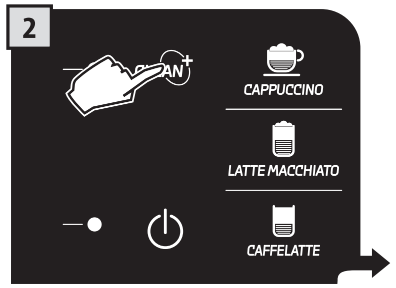
ラテマキアート、ミルクコーヒー、ホットミルクをつくる手順も同様です。

クリーニングサイクル

“CLEAN”ボタンにより、いつでもスピーディーにミルクカラフェのクリーニングをコーヒー抽出の前後に実施することができます。ミルクの有無に関係なく、つねにミルクラインを清潔にクリーニングできます。

1

ミルクカラフェをセットしてください。カラフェのミルク有無に関係なく、ミルクラインのみクリーニングします。

2


クリーニングボタンを押します。マシンがクリーニングを開始します。

3

クリーニングが終了すると、ミルクカラフェを取外すことができます。

カラフェを挿入/取外しするには、P20のミルクカラフェの使用を参照してください。

給湯

警告 **はじめに少量の水と少しスチームが噴射されます。スチーム・給湯ノズルに手や顔を近づけないでください。ヤケドの原因になります。**
スチーム・給湯ノズルは高温になりますので絶対に手で触れないでください。

スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。

給湯ボタンを押すと、あらかじめ設定された量のお湯がでます。"ストップ　ボタン　オユ"を押すといつでも中断できます。

給湯が終了したら、お湯が入った容器を取外してください。

給湯が終わっても、お湯はスチーム・給湯ノズル内部に残っている為、少量のお湯が排出されます。
これは、マシンの特長で故障では有りません。

お湯の量の調整

スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。

給湯ボタンを3秒以上長押ししてください。ディプレイに"MEMO"と表示され、自動的にお湯が出ます。

お好みの量で"ストップ　ボタン　オユ"を押してください。お湯の量が記憶されます。

ビバリッジメニュー

メインメニューに表示されていないコーヒーメニューは、"SPECIAL"ボタンを押すことで抽出できます。

注意:コーヒーメニューが選択されない場合、10秒後に自動的にメインメニューに戻ります。

"SPECIAL"ボタンを押してください。

ディスプレイに、ビバリッジメニューが表示します。

3

ビバリッジメニューを抽出するために、以下を参照してください。

操作がない場合は10秒後にメインメニューに戻ります。

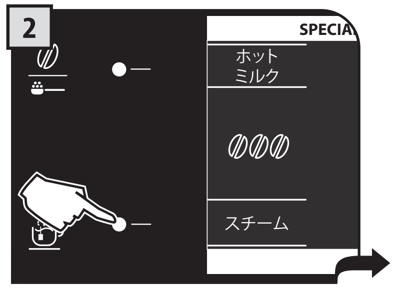
ホットミルクの抽出、あるいは、エスプレッソ、カプチーノをつくるには、(P26、27)を参照してください。

スチーム機能

スチームをミルク、水、その他のドリンクを温めるために使うことができます。

警告 **はじめに少量の水と少しスチームが噴射されます。スチーム・給湯ノズルに手や顔を近づけないでください。ヤケドの原因になります。**
スチーム・給湯ノズルは高温になりますので絶対に手で触れないでください。

給湯・スチームノズルの下に容器を置いてください。



"SPECIAL"ボタンを押し、"スチーム"ボタンを押してください。

スチームを停止する場合は、"ストップスチーム"ボタンを押してください。

スチームで暖める場合は、カップの中でゆっくりと円を描くようにしてください。

Xelsis-B5.indd 24-25 10/05/25 1:19

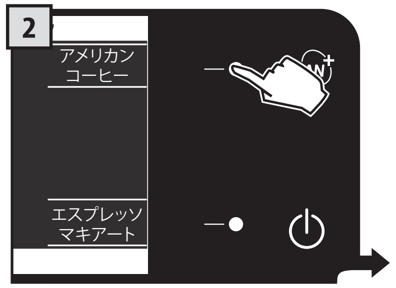
アメリカンコーヒー

アメリカンコーヒーらしい味わいをだすような圧力をかけない方法で抽出します。

注意:アメリカンコーヒーの抽出は圧力をかけないように断続的に、2回連続して抽出されます。アメリカンコーヒーのコーヒー豆量の調整はできません。コーヒー抽出量の設定は、P31の“各メニューの設定”からのみ行なえます。

1

コーヒー抽出口の下にカップを置いてください。

2


“SPECIAL”ボタンを押し、“アメリカンコーヒー”ボタンを押してください。表示されたアイコンのようにSBSダイヤルを左へ目一杯回してください。

3

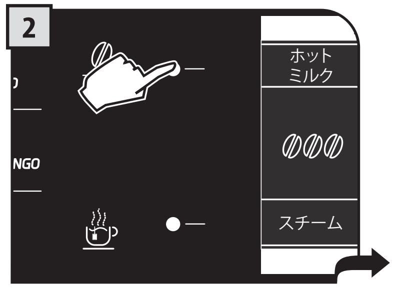
コーヒー抽出が断続して行なわれ、2回連続して抽出されます。“ストップコーヒー”を押すことで抽出を途中で停止することが出来ます。

ホットミルク

ビバリッジメニューにより、ホットミルクを抽出することができます。

1

コーヒー抽出口の下にカップを置いてください。ミルクカラフェのハンドル(パナレロ)を時計回りに回してください。

2


“SPECIAL”ボタンを押し、“ホットミルク”ボタンを押してください。ホットミルクの抽出が始まります。“ストップミルク”ボタンを押すことで中断することができます。

3

ホットミルクの抽出が終了したら、カップを取り外してください。

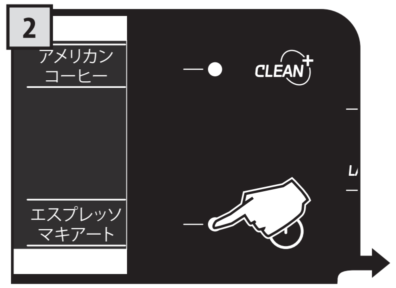
ミルクの抽出量の設定
“ホットミルク”ボタンを3秒以上長押しするとデスプレイのアイコンに“MEMO”と表示され、ミルク抽出量の調整モードになります。適量で“ストップミルク”ボタンを押してください。ミルク抽出量が記憶されます。

エスプレッソマキアート

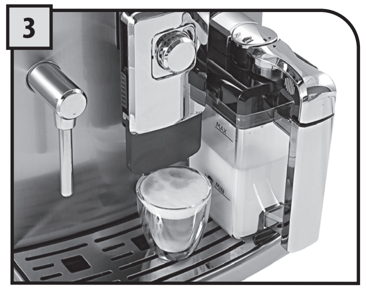
ビバリッジメニューより、エスプレッソマキアートを抽出することができます。

1

コーヒー抽出口の下にカップを置いてください。ミルクカラフェのハンドル(パナレロ)を時計回りに回してください。

2


エスプレッソマキアートボタンを押してください。抽出が始まります。

3

エスプレッソマキアートの抽出が終了したら、カップを取外してください。

抽出量の設定
“エスプレッソマキアート”ボタンを3秒以上長押しするとデスプレイのアイコンに“MEMO”と表示され、ミルク、コーヒーの順番に抽出量の調整モードになります。お好みも量で“ストップミルク”、“ストップコーヒー”ボタンを押してください。ミルク、コーヒーの抽出量が記憶されます。

Xelsis-B5.indd 26-27 10/05/25 1:19

ミルクメニューの抽出量の設定

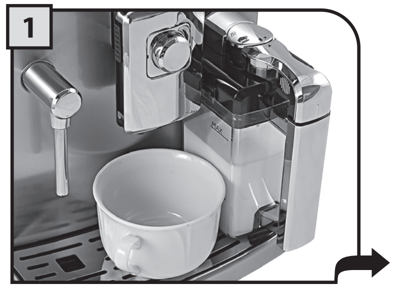
警告 **ミルク抽出後、ミルクやスチームが噴射する場合があります。ミルク抽出が始まったらカップなどの噴射口周辺に手や顔を近づけたり、触れないでください。ヤケドの原因になります。ミルク抽出や自動ススギが終了するまで必ず待機してください。途中でカラフェを取外すとヤケドの原因になります。**

各メニューのボタンを3秒以上、長押しすることにより簡単に抽出量の設定を行なえます。
ミルクメニューの抽出量の例としてプチーノの設定方法を紹介します。

各設定は現在使用中のユーザーのみに適用されます。その他のユーザーは、ユーザーの設定を変更してから設定手順を行ってください。

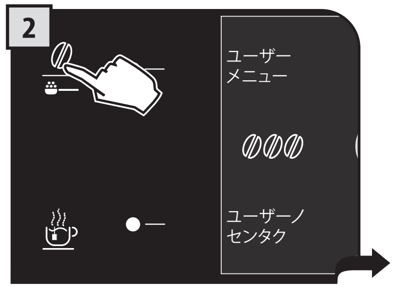
ミルクメニューの泡立ちの設定はP31の“各メニューの設定”より調整することができます。

1



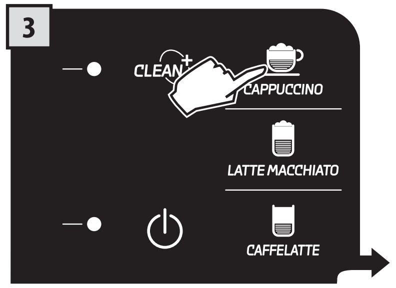
コーヒー抽出口の下にカップを置き、カラフェのハンドル（パナレロ）を時計方向へ回し抽出ポジションにしてください。

2



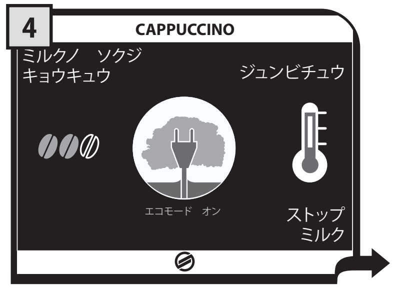
コーヒー粉量設定ボタンを押し、お好みの豆量を選択します。

3



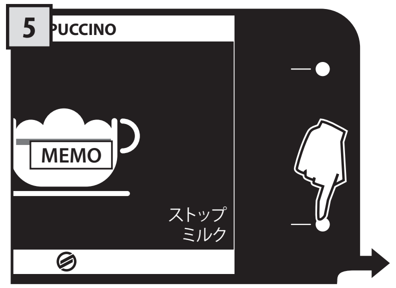
“CAPPUCCINO”ボタンを3秒以上長押ししてください。自動的にディスプレイが切り替わります。

4



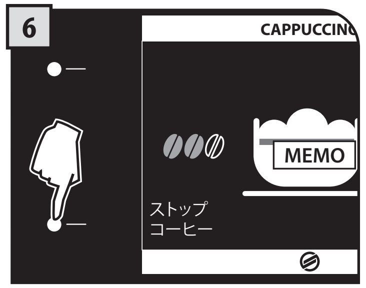
エコモードがONの場合、ジュンビチュウの画面に切り代わり、コーヒー豆が挽かれ、ボイラーが加熱されます。

5



ミルクの抽出が始まります。お好みの量に達したら、“ストップ　ミルク”ボタンを押してください。

6



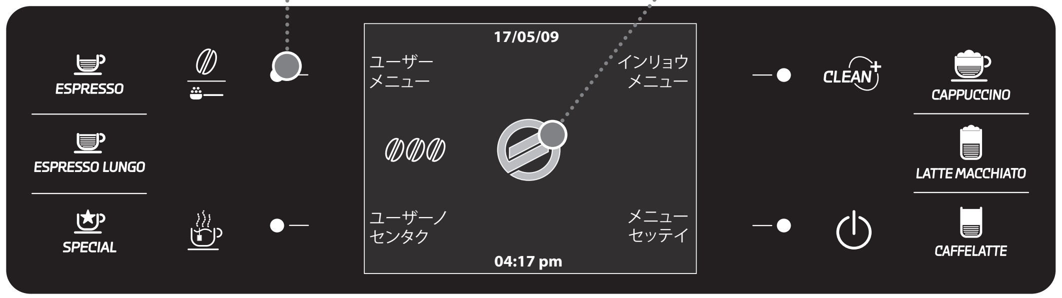
コーヒー抽出を始めます。お好みの量に達したら、”ストップ　コーヒー”ボタンを押してください。
ミルクとコーヒーの抽出量が記憶されます。

ミルクメニューの抽出量が設定されます。以後、設定した抽出量がこのメニューに適用されます。
その他のメニューには、各メニューボタンを3秒間押したままにし、同じ手順を行ってください。
注意:アメリカンコーヒーの設定はこの設定方法では出来ません。P31の“各メニューの設定”のインリョウメニューの設定からのみ行なえます。

ユーザーメニュー

選択したユーザーごとに、各メニューの抽出設定をカスタマイズできます。

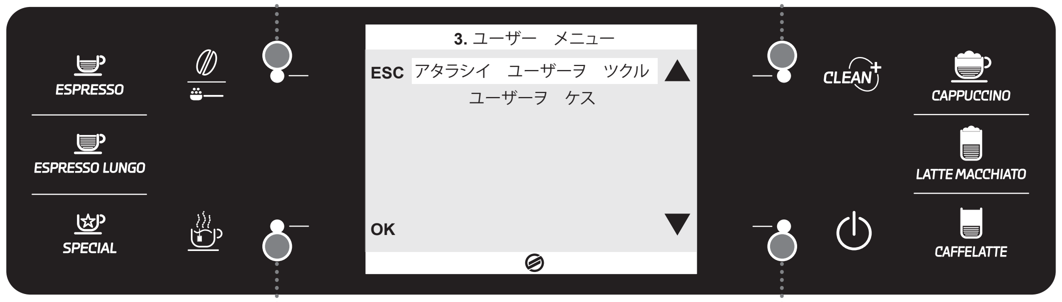
ユーザー設定を選択するボタン　　現在のユーザー表示



ユーザーメニューより新たにユーザーを作成した場合のみ、ユーザーノセンタクを行なうことができます。コーヒー、ミルクメニューなどの設定はユーザーごとに設定が必要となります。コーヒー、ミルクメニューを抽出する前にユーザノセンタクをしてください。

“ユーザーメニュー”を押すと下記の画面が表示されます。

ひとつ前に戻る/終了ボタン　　スクロール/選択ボタン



選択/確認ボタン　　スクロール/選択ボタン

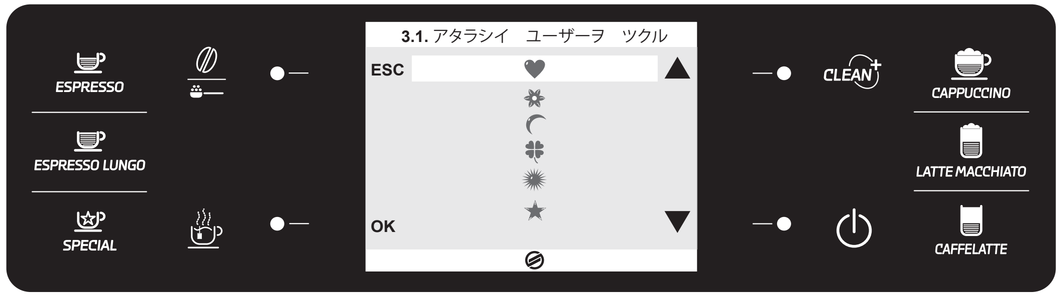
アタラシイ　ユーザーヲ　ツクル

新しいユーザーの追加設定ができます。新たに設定されたユーザーは、お好みに応じて全てのメニューを新たにプログラムできます。

ユーザーヲ　ケス

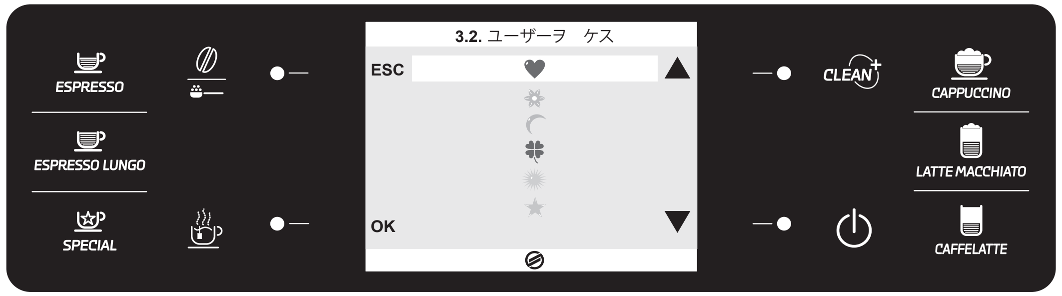
古いユーザー削除することができます。プログラムされたメニューも削除されます。
注意:一度削除してしまうと、設定を元に戻すことはできません。

ユーザーの追加/削除には次の操作を行なってください。



“アタラシイ　ユーザーヲ　ツクル”を選択し、“OK”ボタンを押してください。上記の画面になります。
アイコンを選択するには、(▲) あるいは (▼) ボタンを使用し、確認には、“OK”ボタンを押してください。

ユーザー追加が完了し、メインメニューの“ユーザーノセンタク”から選択することができ、各メニューの抽出設定をカスタマイズできます。すでに設定されているユーザーのアイコンは白色になり、選択から外れます。



“ユーザーヲケス”を選択し、決定すると上記の画面になります。選択したアイコンのユーザーを削除すると各メニューを含む全てのパラメーターが削除されます。

アイコンを選択するには、(▲) あるいは (▼) ボタンを使用し、確認には、“OK”ボタンを押してください。

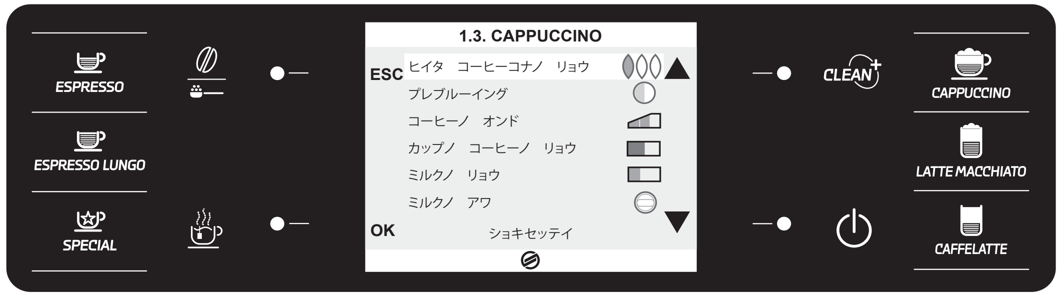
選択された各ユーザーごとにメニュー設定をカスタマイズできます。

ショキセッテイ

各メニューごとに初期設定に戻せます。
工場出荷時の設定にリセットされます。カスタマイズされた設定は全て削除されます。

各メニューの設定

カプチーノのプログラミングをカスタマイズする方法を例として紹介します。エスプレッソ、アメリカンコーヒーなどコーヒーのみの場合は、ミルクのプログラムは表示されません。



ヒイタ　コーヒーコナノ　リョウ

各コーヒーメニューに対して挽かれるコーヒー豆量を設定することができます。このセッティングは、コーヒーのアロマに影響します。

= 粉末コーヒーを使用
= マイルド
= ミディアム
= ストロング

プレブルーイング

プレブルーイング:　最高の味と香りを引き出すため、抽出の直前にコーヒーを少量の湯で湿らせて、蒸らす機能です。

: プレブルーイング（蒸らし）有り
: プレブルーイング（蒸らし）ロングタイム
: プレブルーイング（蒸らし）無し

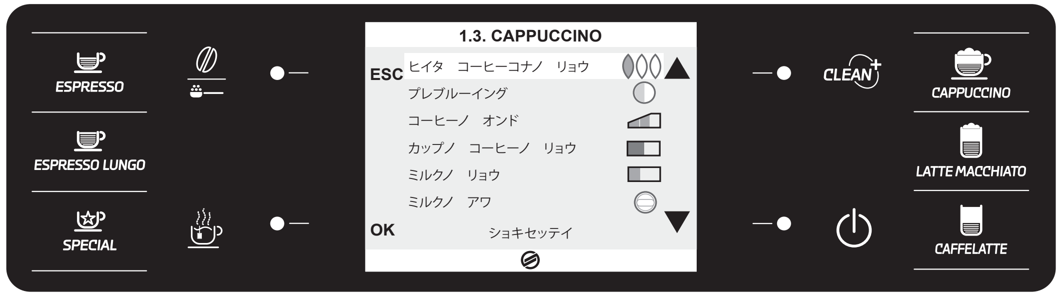
コーヒーノ　オンド

コーヒー抽出の温度を設定できます。

: 低温
: 中温
: 高温

カップノ　コーヒーノ　リョウ

各メニューに使われるコーヒーの抽出量を設定できます。目盛りより最適な抽出量を決めることが出来ます。



ミルクノ　リョウ

ミルクの量が設定できます。
目盛りにより、最適なミルクの量を決めることができます。

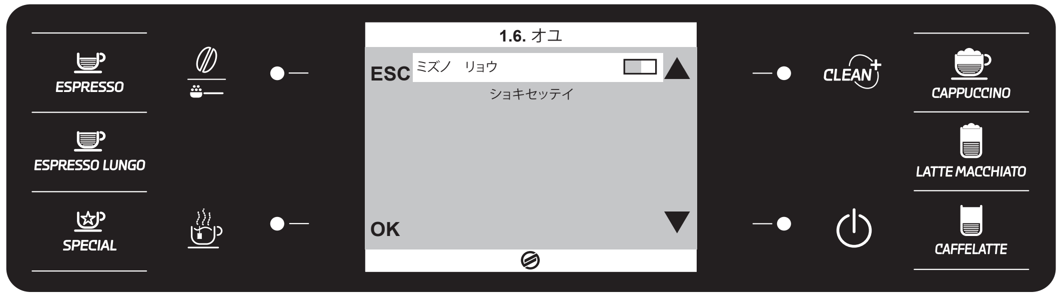
注意:ミルクメニューのみ選択できます。

ミルクノ　アワ

ミルクの泡立て方法を設定ができます。

= きめ細かい泡立て
= 普通の泡立て
= 粗い泡立て
= 泡立てなし（ホットミルクのみを抽出）

注意:ミルクメニューのみ選択できます。
“泡立てなし”はカフェラテとホットミルクのメニューのみ選択ができます。
抽出されるミルクの温度は低くなります。

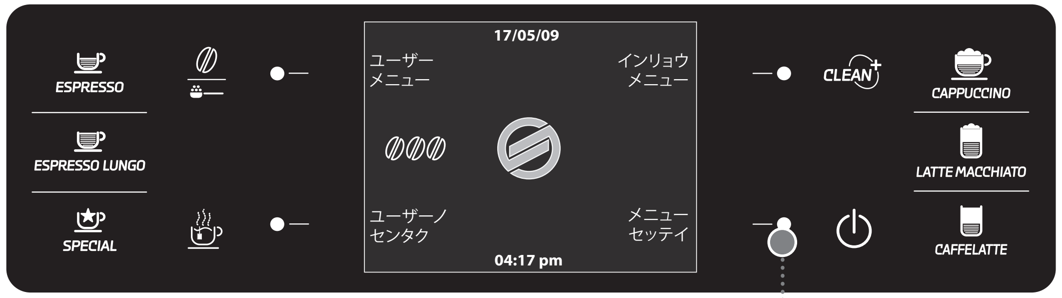


ミズノ　リョウ

給湯の湯量を設定できます。目盛りより最適な抽出量を決めることができます。

Xelsis-B5.indd　32-33
10/05/25　1:19

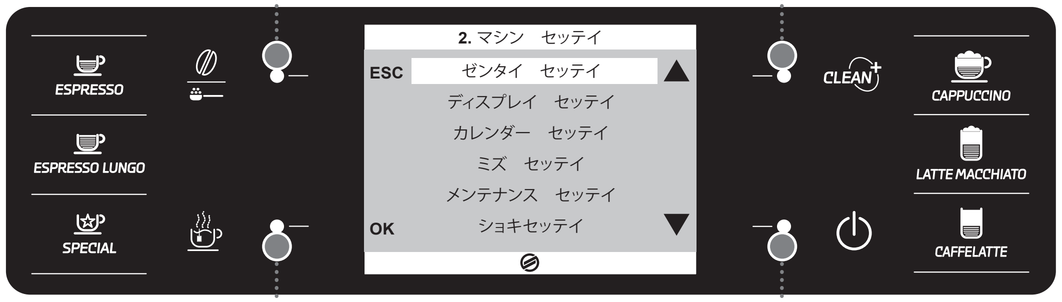
マシン設定をカスタマイズすることができます。この設定のみ全ユーザー共通の設定となります。



マシン設定を選択するボタン。

ひとつ前に戻る/終了ボタン

スクロール/選択ボタン



決定ボタン

スクロール/選択ボタン

共通設定

- ゼンタイ　セッテイ — マシン設定の変更
  - カップ　ウォーマー — マシン上部のカップウォーマーの設定ができます。
    - OFF — カップウォーマを常にOFFにする。
    - ON — カップウォーマを常にONにする。
  - エコモード　キノウ — マシン内部のボイラーヒーターの通電設定ができます。
    - OFF — 各メニューボタンを押すと同時に抽出できるよう、ボイラーヒーターを通電します。消費電力は増加します。
    - ON — 各メニューボタンを押すたびに、ボイラーヒーターを通電します。エネルギーを節約できますが、ミルクメニューを使った抽出をする場合は、”ジュンビチュウ”の待機時間が長くなります。
  - オトノ　トーン — キー操作音、カラフェセット音などの音の設定ができます。
    - OFF — 常に音を鳴らさない。
    - ON — 常に音を鳴らします。

Xelsis-B5.indd 34-35 10/05/25 1:19

共通設定

- **ディスプレイ　セッテイ** — 各メニューに表示される言語とディスプレイのコントラスト設定ができます。
  - **ゲンゴ** — 使用する国の表示言語の設定ができます。
    - **ニホンゴ** — 現在設定されている言語が表示されます。
  - **アカルサ** — ディスプレイのコントラストの設定ができます。

カレンダー設定

- **カレンダー　セッテイ** — 時刻・カレンダー、節電機能、タイマーの各設定ができます。
  - **ジコク** — 現在の時刻、表示形式が設定できます。
    - **ジ** — 現在の時を設定します。
    - **フン** — 現在の分を設定します。
    - **ケイシキ** — 表示される時間の形式を24時間表示とAM/PM表示の2種類から選択ができます。
  - **ヒヅケ** — 現在の日付、表示形式が設定できます。
    - **トシ** — 現在の年を設定します
    - **ツキ** — 現在の月を設定します
    - **ヒニチ** — 現在の日を設定します
    - **ケイシキ** — 表示される日付の形式を4種類から選択できます。
  - **スタンバイノ　セッテイ** — スタンバイモード（節電機能）に入るまでの時間を設定できます。初期設定は”180”分（3時間）です。
    - **15**
    - **30**
    - **60**
    - **180**

    コーヒー抽出後、何も操作しなかった場合、スタンバイモードに入るまでの時間の設定をします。4種類から選択します。

カレンダー　セッテイ

パワー　オン　タイマー

自動ONタイマー設定ができます。あらかじめ決められた曜日の時間帯で個別に3つの設定ができます。
マシンのメイン電源が入っている時のみ有効です。

タイマー1のみの設定を記述します。同じ設定手順で2、3のタイマー設定ができます。

タイマー 1　00:00

タイマー1の設定をします。

ジ 00

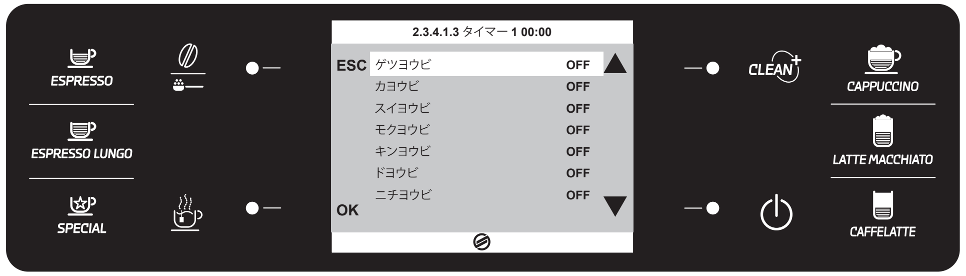
電源ON時の時の設定

フン 00

電源ON時の分の設定

ゲンザイ ノ ヨウビ

設定したタイマーを何曜日に有効にするかを設定します。有効にしたい曜日を“ON”に設定してください。



タイマー 3　00:00

タイマー2の設定をします。
設定手順はタイマー1と同じです。

タイマー 3　00:00

タイマー3の設定をします。
設定手順はタイマー1と同じです。

水の設定

ミズ　セッテイ

水の硬度の設定ができます。

ミズノ　コウド

マシンに使用する水の硬度レベルに設定します。水の硬度は付属の水硬度測定用紙を使用してください。(P11を参照)
設定後は適切なタイミングで除石灰のサインを表示します。

水の硬度による除石灰のタイミングは下記のようになります。

水の硬度の設定	除石灰までの水量	浄水フィルター取付
1	240ℓ	480ℓ
2	120ℓ	240ℓ
3	60ℓ	120ℓ
4	30ℓ	60ℓ

フィルターノ　ジュンビ

インテンザ浄水フィルターの交換アラームの表示設定ができます。設定をすることでインテンザ浄水フィルターの交換時期を表示します。
OFF:アラームを使用しない
ON: アラームを使用する(浄水フィルターの開始設定をしている場合、自動的に設定されます)

フィルターノ　シドウ

取付け、交換後に浄水フィルターを開始する設定です。
インテンザ浄水フィルターを馴染ませる為に自動にスチーム/給湯ノズルより500ccの水が排出されます。

Xelsis-B5.indd 38-39　10/05/25 1:19

メンテナンス設定

メンテナンス　セッテイ
各メニューの抽出カウンターの確認や、各洗浄プログラムを行うことができます。

- **メニューベツ　カウンター**
  各メニューのごとに抽出した杯数が表示されます。カウンターのリセットをすることができます。
- **ジョセッカイ　サイクル**
  除石灰サイクルを実施します。表示には除石灰サイクルまで使用可能な水の量（ℓ）が表示されます。
- **ユニット　センジョウ　サイクル**
  ブルーイングユニットの洗浄プログラムを実行します。洗浄にはクリーニングタブレットを使用してください。（P47参照）
- **カラフェ　センジョウ　サイクル**
  カラフェの洗浄プログラムを実行します。洗浄には付属の洗浄液SC-1000を使用してください。
- **カラフェ　ジドウ　センジョウ**
  ミルク抽出後のカラフェ自動洗浄のON/OFF設定ができます。
  自動洗浄はミルク抽出後、カラフェのハンドル（パナレロ）を元の位置に戻したときに行います。
  - **OFF**
    自動洗浄機能OFF
  - **ON**
    自動洗浄機能ON
- **ショキセッテイ**
  工場出荷時の設定に戻します 。

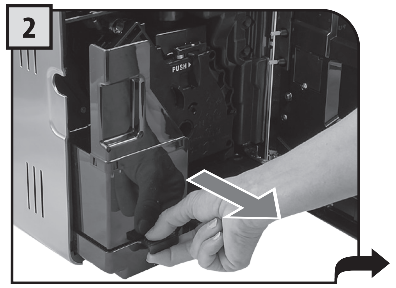
各部のクリーニング

1日の終わりにマシンを清潔に保つため必ず以下のクリーニングを行ってください。

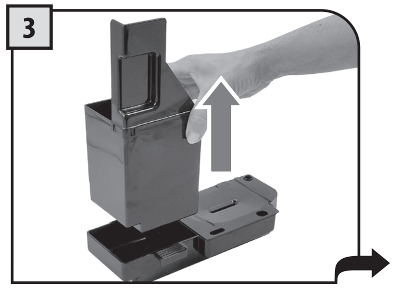
注意:研磨剤の入った洗剤は、使用しないでください。食器洗浄機は使用しないでください。各部品はオーブンや電子レンジなどで乾かさないでください。

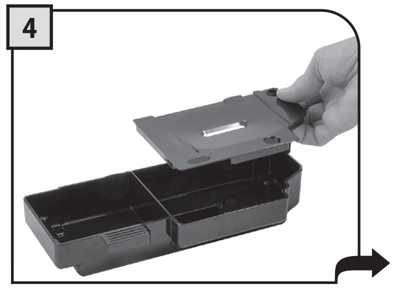
1

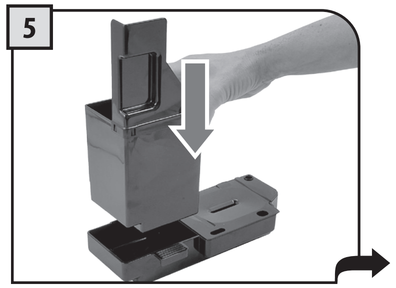
ボタンを押して、サービスドアを開けてください。

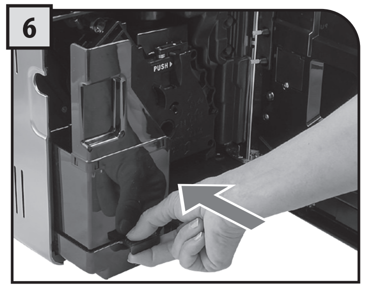
2


ドリップトレイとカス容器を取り外してください。

3

カス容器を空にして、水洗いしてください。

4

ドリップトレイの排水を捨てて、カバーと一緒に水で水洗いしてください。

5

すべての構成部品を再び取り付けてください。

6


ドリップトレイとコーヒーカス容器を挿入し、サービスドアを閉めます。

使用中に、「コーヒーカスヨウキヲ　カラニシテクダサイ」および「ドリップトレイノミズヲステテクダサイ」のメッセージが表示されます。マシンに電源が入っている状態で作業してください。

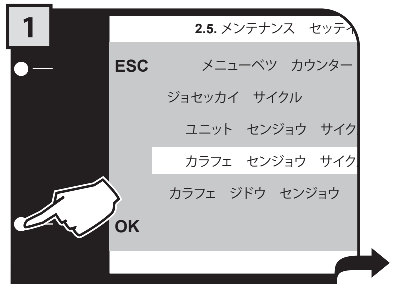
マシンの電源が切れている時に、カス容器を空にしても、コーヒーカスカウンターはリセットされません。よって2～3杯のコーヒーを抽出した後も「コーヒーカスヨウキヲカラニシテクダサイ」というメッセージを表示する場合があります。

Xelsis-B5.indd 40-41　10/05/25 1:19

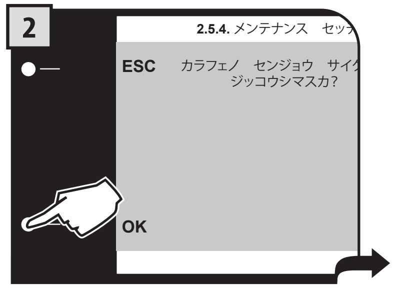
ミルクカラフェのクリーニング

1日の終わりにマシンを清潔に保つため必ず以下のクリーニングを行ってください。
流水ですすいだ後に、マシンに付属されている洗浄液SC-1000を使用して、自動洗浄プログラムによってカラフェのクリーニングを行います。

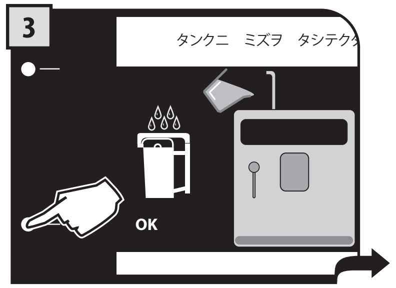
注意:カラフェの洗浄プログラムは途中停止できません。
途中で電源を入れ直しても、最初からカラフェの洗浄プログラムが実施されます。
クリーニング中はマシンのそばから離れないでください。



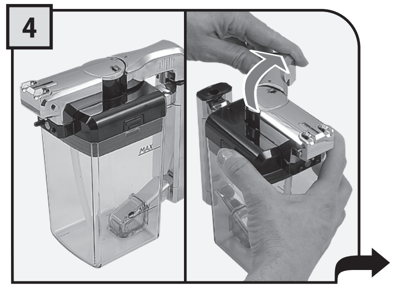
”メニューノセッテイ”より”メンテナンス セッテイ”を選択し、カラフェ センジョウ サイクルで”OK”ボタンを押してください。



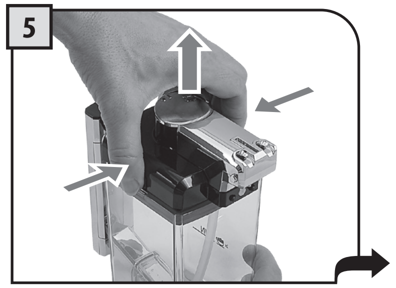
洗浄開始の確認メッセージが表示されますので”OK”ボタンを押してください。



水タンクに新鮮な水をMAXまで入れて、“OK”ボタンを押してください。

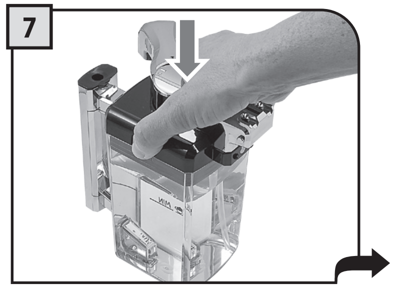


カラフェをマシンから取り外し、空にしてください。
ハンドル（パナレロ）を回してください。

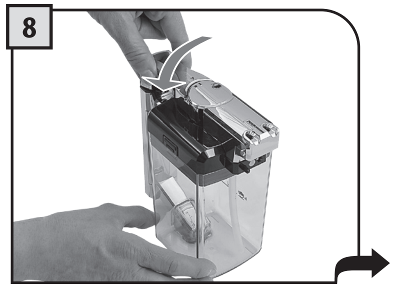


カバーの左右を押しながら外してください。

カラフェに新鮮な水をMAXまで入れてください。
付属の洗浄液をキャップ半分ほど入れてください。

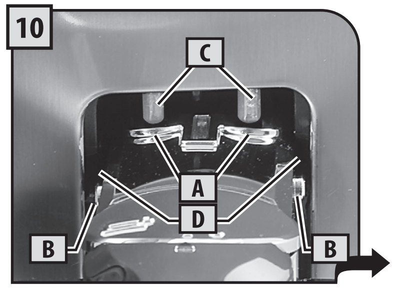


カバーをカラフェにセットしてください。

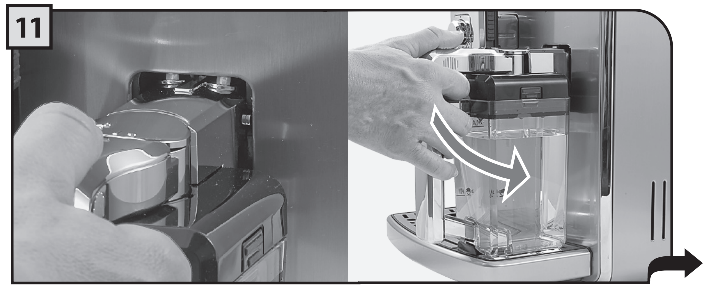


ハンドル（パナレロ）を中央へ戻すとカバーが密閉されます。

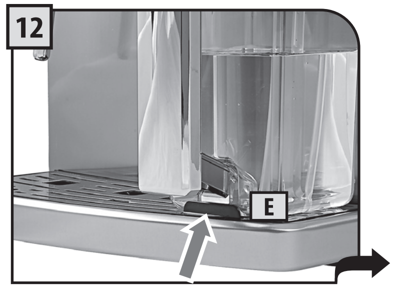
カラフェを前に傾けながら挿入します。



この状態では、カラフェの穴(A)は、ノズル(C)よりも下にあります。カラフェピン(B)は、ガイド(D)の高さと同じ位置にあります。

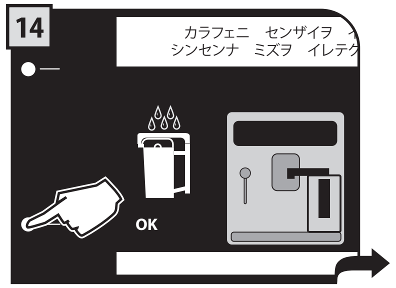


このままグッと奥へ押し込み、カラフェの底をドリップトレイの穴にはめ込みます。

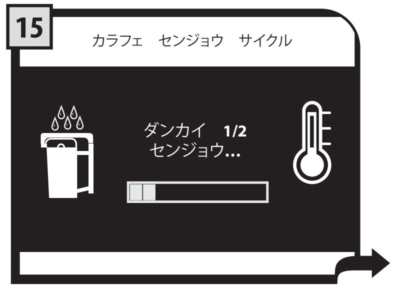


“ピーピーピー”と音がすればセット完了です

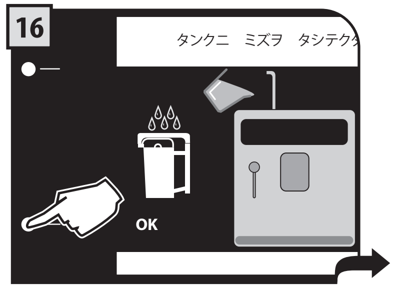
コーヒー抽出口の下に大きな空の容器を置きます。カラフェのハンドル（パナレロ）を回し容器の上にします。



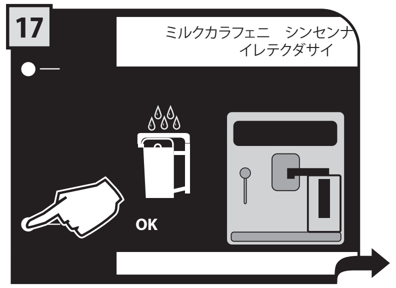
確認メッセージが表示されます。“OK”ボタンを押してください。



クリーニングが開始します。
表示は、クリーニングの進行を示しています。

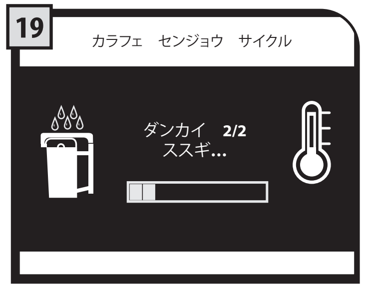


クリーニングが終了したら、水タンクに新鮮な水を入れてください。確認のため”OK”ボタンを押してください。



カラフェを取り外し、すすぎ洗いをしてください。新鮮な水を入れて、確認のため”OK”ボタンを押してください。

コーヒー抽出口の下に大きな空の容器を置きます。ミルクカラフェのハンドル（パナレロ）を回し容器の上にします。



すすぎが開始します。表示は、すすぎの進行を示しています。
すすぎが終了すると、ディスプレイはメニュー画面へ戻ります。

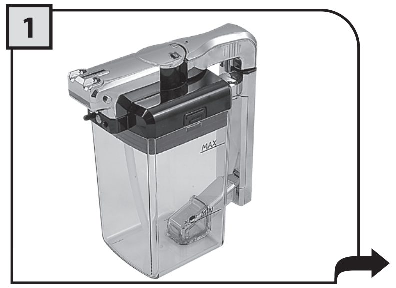
クリーニングが終了後、新鮮な水ですべての構成部品をすすぐことを推奨します。

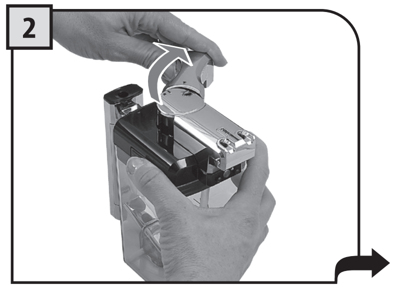
Xelsis-B5.indd 42-43 10/05/25 1:19

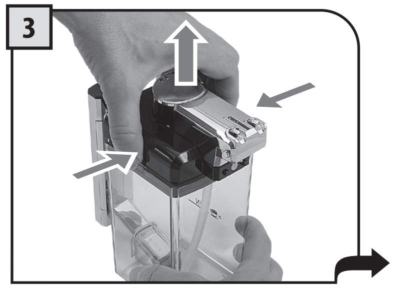
ミルクカラフェの分解クリーニング

カラフェの泡立てユニットを常に清潔に保つため、マシンから取外し、分解洗浄を毎日行ってください。

注意:泡立てユニットの分解、組み立て方法に注意してください。サービスドアの内側上に簡単に組み立て図を記入されているので参考にしてください。的確に覚えることで簡単にできます。

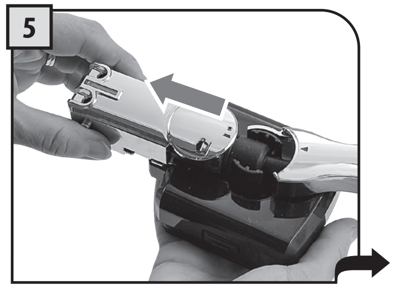
1

カラフェをマシンから取外し、空にします。

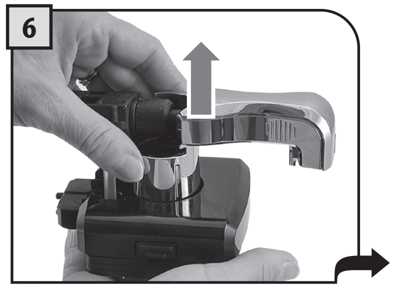
2

ハンドル（カラフェ）を時計方向へ回し、ロックを解除してください。

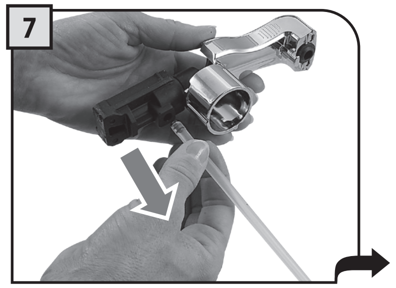
3

左右のボタンを押しながら上に持ち上げてフタを取外してください。

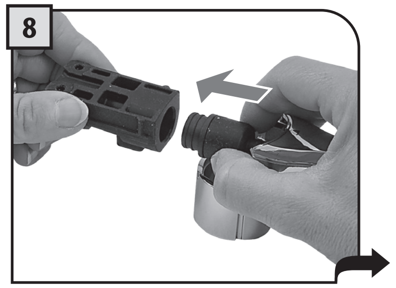
4

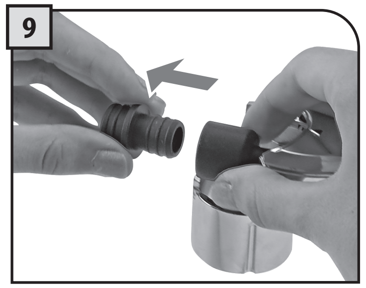
ハンドルを反時計方向に（●）の印まで回します。

5

マシンへ取り付けする側のハンドルカバーを引っ張り外します。

6

ミルクチューブ付きハンドルを上に引っ張り外します。

7

チューブを取外します。
チューブについている黒いコネクタをなくさないように注意してください。

8

写真のゴム製のカラフェソケットを引っ張り外します。

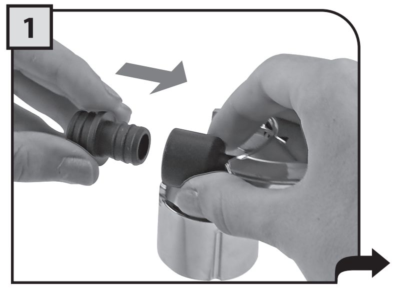
9

写真の樹脂製の継ぎ手をを引っ張り外します。

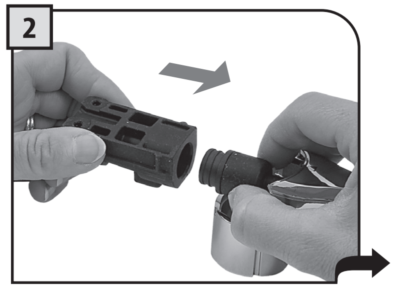
分解した泡立てユニットを水、もしくは、ぬるま湯でよく洗浄し、乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

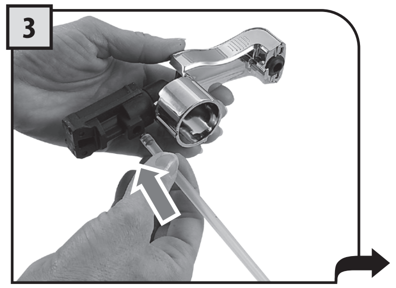
ミルクカラフェの組み立て

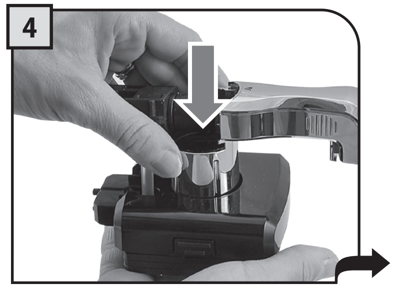
分解、洗浄したカラフェの泡立てユニットを組み立てます。組み立て作業は、慣れるまで慎重に注意深く行ってください。組み立て後、ミルクを抽出できない場合は、繰り返し組み立て方法を読み、分解、組み立てを行ってください。

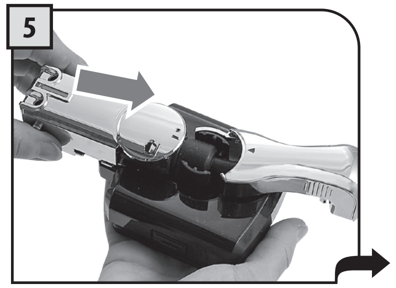
注意:組み立て時に隙間ができるとミルクが抽出できません。隙間なく組み立ててください。
サービスドアの裏上に組み立て図が記入されていますので参考にしてください。

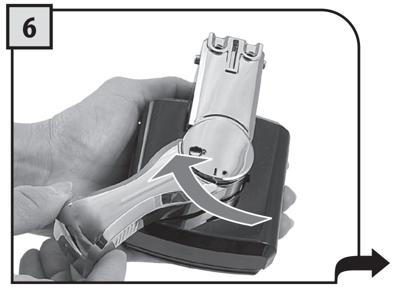
1

樹脂製の継手をホースに挿入し、奥までグッと隙間なく押し込んでください。隙間があるとミルクが吸いあがりません。

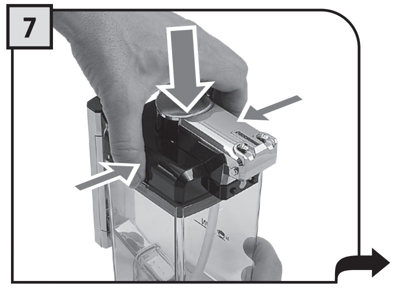
2

ゴム製のカラフェソケット部分を樹脂製の継手に挿入します。図の矢印の方向に挿入してください。

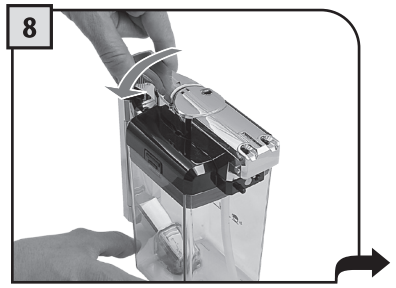
3

チューブをカラフェソケットにグッと押し込み、挿入します。

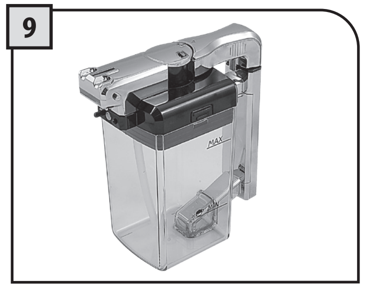
4

組み立てたハンドル部分をカラフェカバーの穴へチューブを通し挿入します。

5

ハンドルカバーをガイドレールに沿って挿入します。

6

ハンドルを時計回りに（ ）の印まで回します

7

カバーを取り付けます。

8

ハンドルを時計と反対方向に（I）の印まで回します。

9

カラフェの組み立てが完了しました。

Xelsis-B5.indd 44-45 10/05/25 1:20

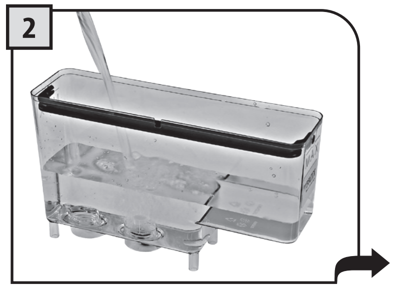
そのほかのクリーニング

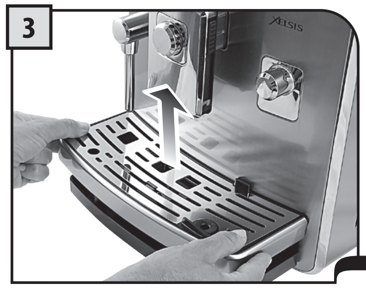
1日の終わりにマシンを清潔に保つため必ず以下のクリーニングを行ってください。
注意:研磨剤の入った洗剤は、使用しないでください。食器洗浄機は使用しないでください。各部品はオーブンや電子レンジなどで乾かさないでください。

警告! 機械を水に浸けないでください。

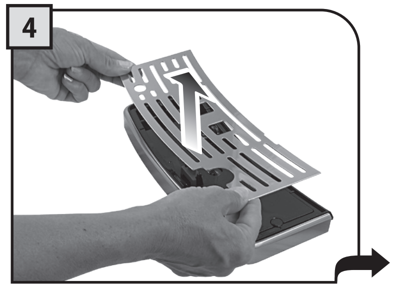
1

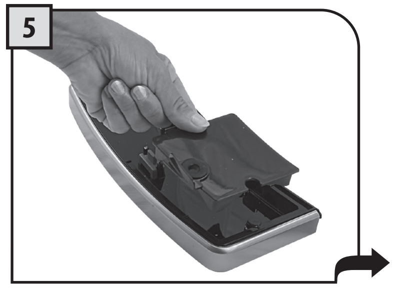
スイッチを切り、電源コードを抜いてください。

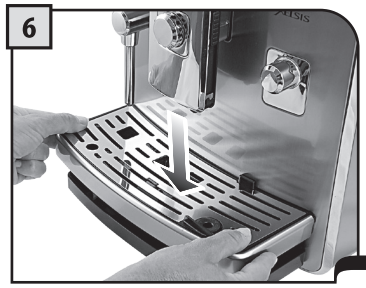
2

水タンクを取り外し、水洗いしてください。

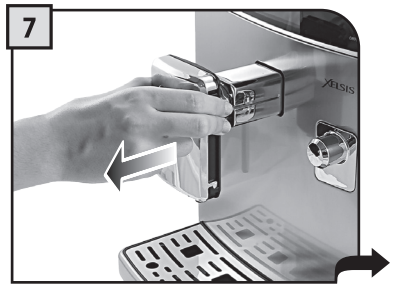
3


ドリップトレイを上へ外してください。

4

目皿を取り外し、よく洗ってください。

5

目皿下のリカバリーカバーを外してください。突起部に注意しながら内側も洗ってください。

6

柔らかい布で水気をしっかり拭き取り、組み立ててマシンにセットしてください。

7


コーヒー抽出口を取り外し、水洗いしてください。

8

粉末コーヒー投入口を乾いた布で拭いてください。

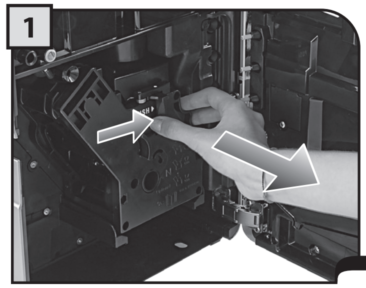
9

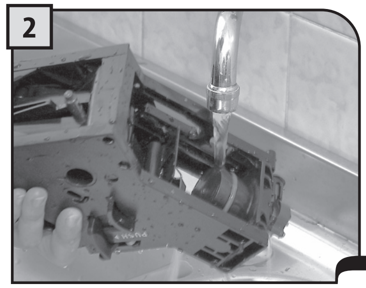
スチーム・給湯ノズルとディスプレイを乾いた布で拭いてください。

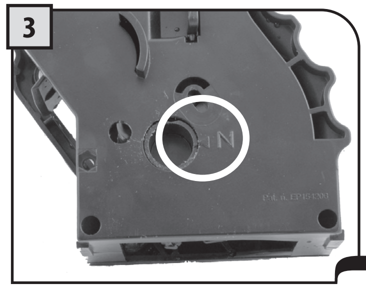
ブルーイングユニットのクリーニング

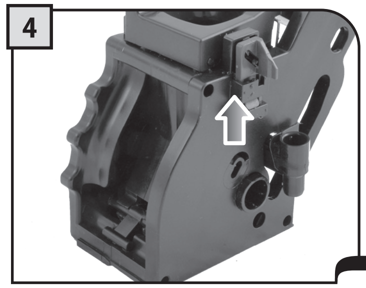
ブルーインングユニットは毎日水もしくは、ぬるま湯で洗ってください。

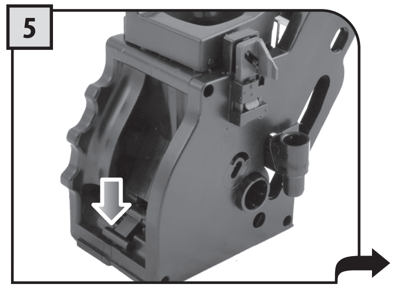
注意:中性洗剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。食器洗浄機は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

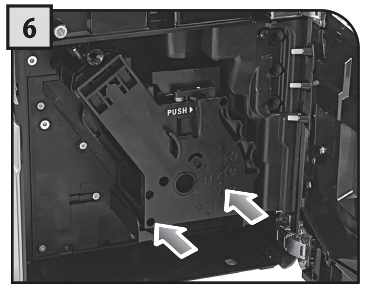
1

サービスドアを開き、ドレイントレイとカス容器を外してください。図の親指でプッシュを押してブルーイングユニットを取外します。

2

ブルーイングユニットとフィルターを付属のブラシで洗い、乾燥させてください。

3

ブルーイングユニットがセットポジションにあることを確認してください。二つのマークが向き合っている必要があります。

4

各部が正常にセットされていることを確認してください。図に示したフックは正しい位置になければなりません。

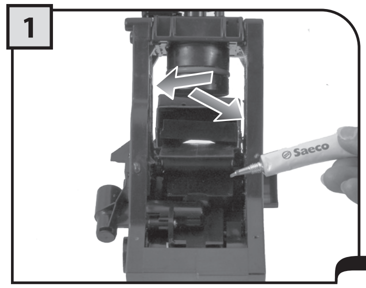
5

ブルーイングユニット後部のレバーはユニットに接触しているか確認してください。

6


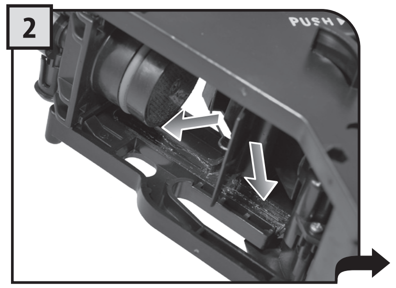
乾燥したブルーイングユニットを挿入します。"プッシュ"ボタンは押さないでください。
ドレイントレイとカス容器をセットし、サービスドアを閉めてください。

グリースの添付方法

約500杯コーヒーを抽出したら、以下のようにブルーイングユニットの可動部へグリースを添付してください。

1


ブルーイングユニットのレールガイドにグリースを塗布してください。

2


両方のレールガイドにグリースを均等に塗ってください。

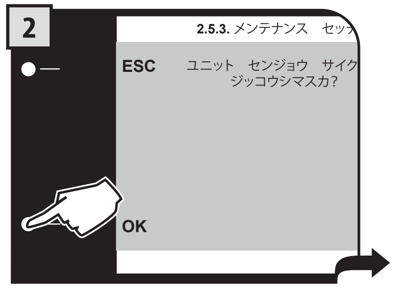
Xelsis-B5.indd 46-47 10/05/25 1:20

ブルーイングユニットの水経路のクリーニング

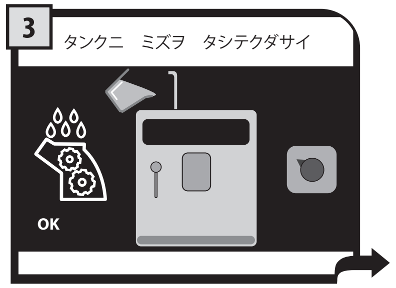
ブルーイングユニット専用のクリーニングタブレットを使用して、ブルーイングユニットのフィルターの裏側やコーヒー抽出口までのコーヒーラインをクリーニングします。ブルーイングユニットに付着したコーヒー粉を流水で洗い流した後に実施してください。
週に1回またはコーヒー抽出が約500杯ごとにクリーニングを実施すること推奨します。

注意:ブルーイングユニットの洗浄プログラムは途中停止できません。
途中で電源を入れ直しても、最初から洗浄プログラムが実施されます。
クリーニング中はマシンのそばから離れないでください。

”メニューノセッテイ”より”メンテナンスセッテイ”を選択し、”ユニット　センジョウ　サイクル”で”OK”ボタンを押してください。

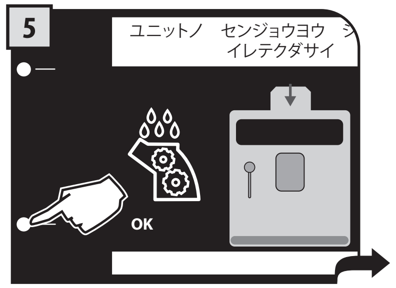


洗浄開始の確認メッセージが表示されますので”OK”ボタンを押してください。



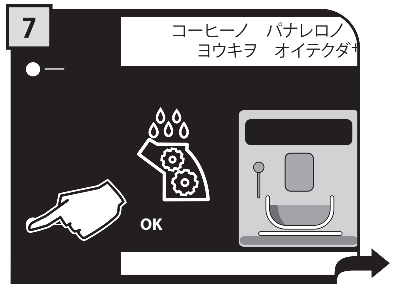
水タンクに新鮮な水を入れて、”OK”ボタンを押してください。

粉末コーヒー投入口にクリーニングタブレットを1錠入れてください。

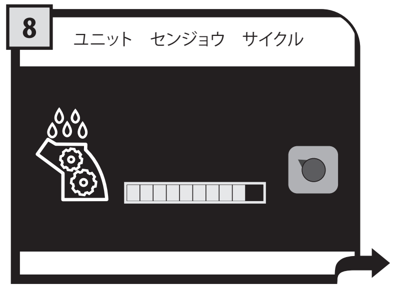


”OK”ボタンを押してください。

コーヒー抽出口の下に容器を置いてください。



SBSダイヤルを左へ目いっぱい回し”OK”ボタンを押してください。



クリーニングが開始します。表示はクリーニングの進行を示しています。

ブルーイングユニットの自動洗浄が終了したら、容器を取外し、排水を捨ててください。

ブルーイングユニットのクリーニング終了後は、SBSダイヤルを元の位置に戻してください。

ボイラーの徐石灰作業の実施

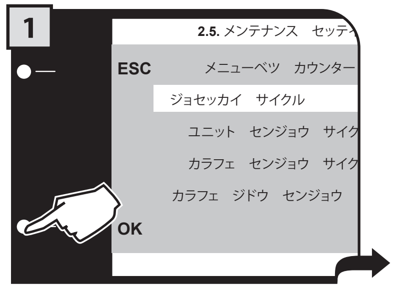
長期間使用しているとボイラーなどの内部部品に、水に含まれる石灰成分が付着します。石灰分を取り除くため、徐石灰マークのメッセージが表示したら実施してください。徐石灰作業はプログラムで自動的に行います。

注意:徐石灰剤として、絶対に酢は使わないでください。故障の原因となります。徐石灰プログラムは途中停止できません。途中で電源を入れ直しても、最初から徐石灰プログラムが実施されます。徐石灰プログラムは30分弱かかります。マシンのそばから離れないでください。メッセージが表示されたら必ず徐石灰を実施してください。実施しないと石灰が詰まり故障の原因となります。

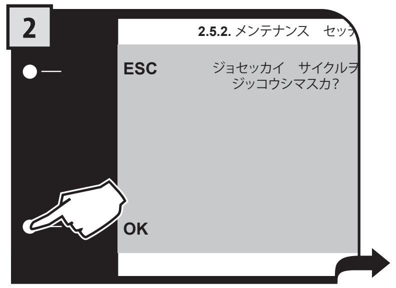
マシンの特徴に合わせ、性能が時間経過とともに落ちないように開発されたサエコデカルリキッドの使用を推奨します。

徐石灰作業を開始する前に、次の項目を確認してください。
1. 水タンクのインテンザ浄水フィルターを外す。
2. 大きめな排水用の容器を2個準備する。
3. SBSダイヤルは目いっぱい左へ回す。

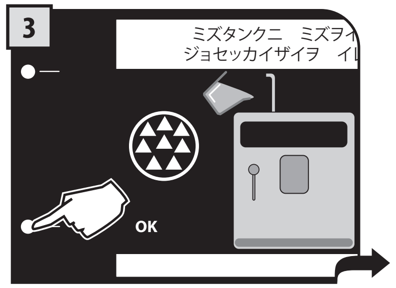
注意:徐石灰プログラム中に、排水を捨ててくださいなどの警告メッセージが表示される場合があります。警告内容のリセット作業を行い必ず”スタート”ボタンを押してください。徐石灰プログラムが進行します。



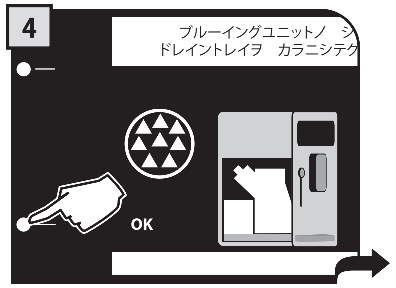
”メニューノセッテイ”より”メンテナンスセッテイ”を選択し、” ジョセッカイ サイクル”で”OK”ボタンを押してください。



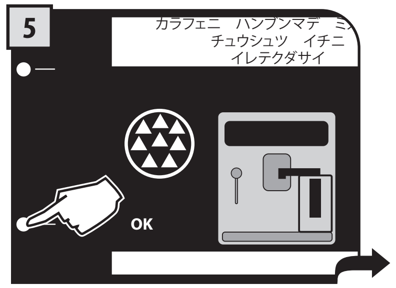
徐石灰サイクルの開始確認メッセージが表示されます。”OK”ボタンを押してください。



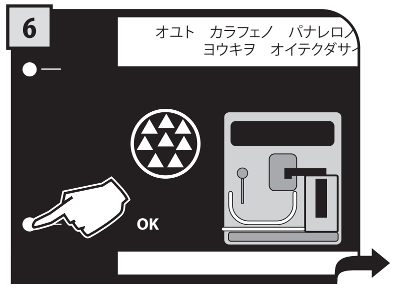
水タンクに徐石灰溶液を入れ、水をMAXまで入れてください。確認の”OK”ボタンを押してください。



ドレイントレイの排水を空にしてください。確認の”OK”ボタンを押してください。



カラフェに新鮮な水を半分入れマシンへセットしてください。カラフェのハンドルを左へ回し、確認の”OK”ボタンを押してください。

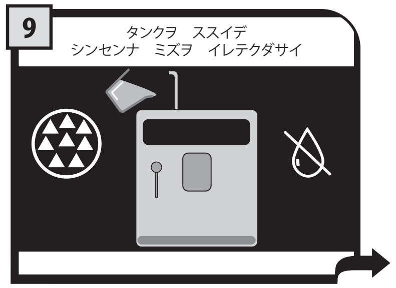


排水用の容器をひとつはコーヒー抽出口下へ、ひとつはとスチーム・給湯ノズルの下へ置きます。確認の“OK”ボタンを押してください。

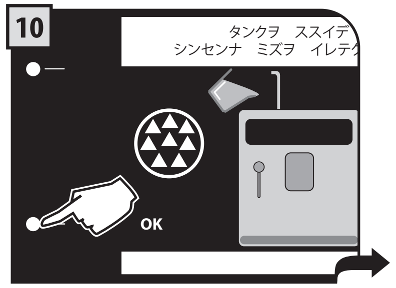
Xelsis-B5.indd 48-49 10/05/25 1:20

除石灰作業が開始します。
表示は、除石灰作業の進行を示しています。

容器に排水がたまった場合は、“チュウシ”ボタンを押してください。容器の排水をしてた後、元の位置に戻し“スタート”ボタンを押してください。

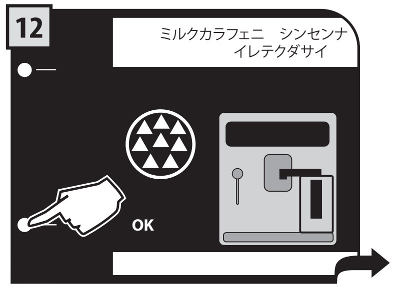


除石灰溶液がなくなり第一ステップが終了したら、水タンクのすすぎの画面が出ます。

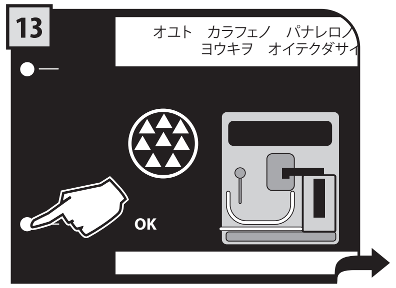


水タンクをすすぎ、新鮮な水をMAXまで入れます。確認の“OK”ボタンを押してください。

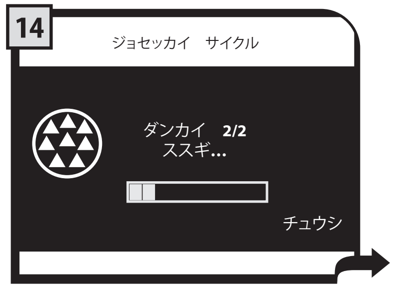
ドレイントレイの排水を空にしてください。確認の”OK”ボタンを押してください。



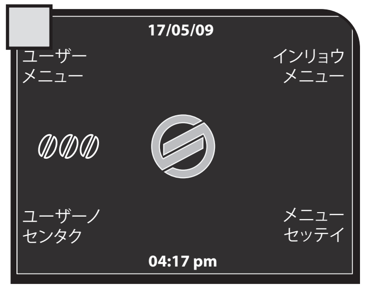
カラフェに新鮮な水を半分入れマシンへセットしてください。カラフェのハンドルを左へ回し、確認の“OK”ボタンを押してください。



排水用の容器を空にし、ひとつはコーヒー抽出口下へ、ひとつはとスチーム・給湯ノズルの下へ置き、確認の“OK”ボタンを押してください。



すすぎが開始されます。表示は、すすぎの進行を示しています。途中、水の補充とドレイントレイのメッセージが出ますので、水を補充しドレイントレイの排水を捨てて“スタート”ボタンを押してください。



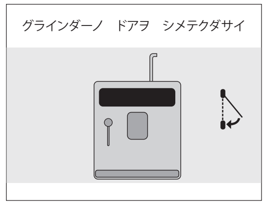
第2ステップが終了後、通常の待機画面へ戻り、使用可能になります。

徐石灰サイクルが終了後、水タンクへインテンザ浄水フィルターを取付け、SBSダイヤルを元の位置に戻してください。

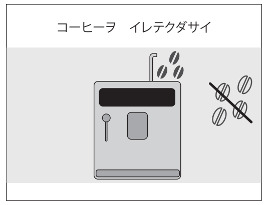
Xelsis-B5.indd 50-51
10/05/25 1:20

マシンメッセージ

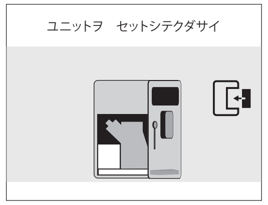
ヘルプメッセージが表示されている	エラーメッセージのリセット方法



豆容器フタがセットされていません。豆容器フタをセットし、カバーを閉めてください。



コーヒー豆がなくなりました。コーヒー豆を補充してください。

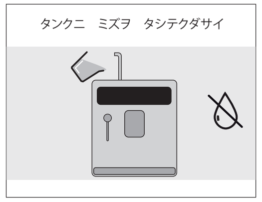


ブルーイングユニット無し、または、きちんとセットされていません。ブルーイングユニットを入れ直し、セットしてください。

カス容器とドレイントレイがきちんとセットされていません。カス容器とドレイントレイを入れ直し、セットしてください。

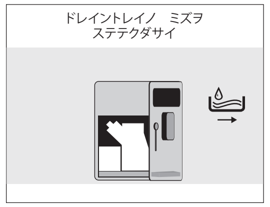
コーヒーカスが一杯です。カス容器のコーヒーカスを捨ててください。
注意:電源が入っている状態で、カスを捨ててカス容器をセットしてください。メイン電源が切れた状態で行うと、マシン内部のコーヒーカスカウンターがリセットされません。

サービスドアを閉めてください。

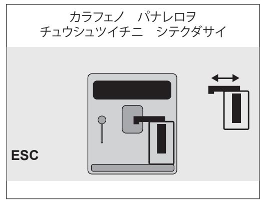


水タンクの水がなくなりました。水タンクに新鮮な水を補充してください。水タンクフタの注ぎ口より水を補充することができます。

ヘルプメッセージが表示されている	エラーメッセージのリセット方法

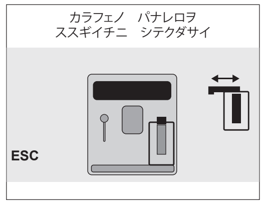


ドレイントレイに排水が一杯です。ドレイントレイの排水を捨て、セットしてください。
注意:コーヒーカスカウンターもリセットされるため、コーヒーカスも同時に捨ててください。



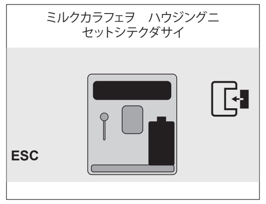
ミルクメニューが選択されました。カラフェハンドル(パナレロ)を左へ回し抽出ポジションにしてください。

この選択をキャンセルするには、“ESC”ボタンを押してください。



カラフェクリーニングが選択されました。カラフェハンドル(パナレロ)を左へ回し抽出ポジションにしてください。

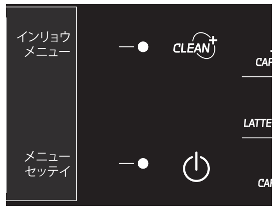
この選択をキャンセルするには、“ESC”ボタンを押してください。



ミルクカラフェをマシンへセットしてください。取扱説明書の指示に従い、マシンにカラフェを挿入してください。

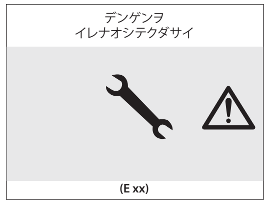
この選択をキャンセルするには、“ESC”ボタンを押してください。

徐石灰サイクルの合図です。
このメッセージが表示されても、しばらくマシンを使用することは出来ますが、水量カウンターがいっぱいになると、マシンがロックします。すみやかに徐石灰サイクルを実施してください。メッセージが表示されたら早めに徐石灰サイクルを実施してください。



ランプが赤点滅の場合はスタンバイ(節電機能)中です。

“⏻”ボタンを押してください。



マシンエラーです。画面下のエラーコード(E xx)に注意してください。一度電源を切り、30秒間後にもう一度電源をいれてください。それでも解決しない場合は、サエコサービスセンターへご連絡してください。

緊急時の対応
すぐにコンセントからプラグを引き抜いてください。

以下のような条件で使用ください
・室内にて使用すること。
・コーヒーの抽出、給湯、スチームを使ったミルク泡立てや温かい飲み物用。
・心身に異常のない、正常な判断のできる成人によるご使用。

以下のような使用は決してしないでください
危険防止のため上記の事柄以外の使用はおやめください。
取扱説明書に記載されている水やコーヒー豆以外のものを使用しないでください。
混入を防ぐため、水やコーヒー豆を補充する際は他の容器の蓋は全て閉じておいてください。
水タンクには新鮮な飲料水のみご使用ください。お湯やその他の液体の使用はマシンを損傷させる恐れがあります。
炭酸水は使わないでください。
コーヒーグラインダーへコーヒー豆以外の物を入れたり、指を差し入れたりしないでください。

電源の接続
本エスプレッソマシンに見合った適切な電源コンセントに接続してください。電圧はマシンラベルの表示にあっていなければなりません。使用時以外は電源コードをコンセントからはずしてください。

設置
・水平面を選んでください。加熱面には置かないようにしてください。
・マシン壁と料理用ホットプレートなどとの間は、10cm以上離してください。
・マシンを摂氏0度以下で保管しないでください。凍結損傷の恐れがあります。
・万が一のために、常にコンセントに近づくことができる場所に設置してください。
・電源コードは損傷がないこと、クランプで固定しないこと、熱せられた場所の上に置かない等、ご注意ください。
・電源コードを吊り下げないでください。(引っかかったり、マシンを落下させたりする危険性があります)
・電源コードを引っ張ってマシンを運んだり移動させたりしないでください。

危険
・お子様や操作方法の説明を受けていない方のマシン使用はおやめください。
・お子様のマシン使用は危険です。お子様だけにする場合はマシンが作動しないように電源をOFFにしてください。
・お子様の手の届くところにエスプレッソマシンを置いたままにしないでください。
・お湯やスチームが出ている先をご自分や他の方へ向けないでください。火傷する危険性があります。
・マシンの開口部から物を差し込まないでください。(危険!電流!)
・濡れた手足でプラグに触れないでください。電源コードを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。
・お湯、スチーム及びスチーム・給湯ノズルによる火傷にご注意ください。

インテンザ浄水フィルターの注意事項
インテンザ浄水フィルターを正しく使用するために、次の指示を考慮してください。
1. インテンザ浄水フィルターは1℃から50℃(華氏34° F～122°F)までの涼しい場所に保管してください。
   直射日光があたる場所には保管しないでください。
2. フィルターに添付されている指示書と安全警告書をよくお読みください。
3. フィルターに関する指示書は取扱説明書とともに保管してください。
4. これらの内容は、フィルターの特定使用に基づいた内容のため、取扱説明書の指示を併せ含むものです。

故障
・落下させたりした後、故障を確信又は予感できる場合、使用しないでください。
・故障修理は全てサービスセンターにご依頼ください。
・欠陥のある電源コードの付いたマシンを使用しないでください。損傷した場合は製造元あるいは指定サービスセンターに取替えを依頼してください。(警告!　電流!)
・サイドドアを開ける前にはマシンの電源をOFFにしてください。

クリーニング
・クリーニング前にプラグを抜いて、マシンを冷ましてください。
・マシンを水に浸けたり、水しぶきが掛からないようにご注意ください。
・マシンの部品をオーブンや電子レンジなどで乾かさないでください。

スペアパーツ
安全上の理由により、正規のパーツ及びアクセサリー以外は使用しないでください。

廃棄
・包装資材はリサイクルできます。
・マシン:プラグを抜いて、電源コードを切ってください。
・マシンと電源コードは公共の廃棄物処理場へ引き渡してください。

マシンや包装箱についているシンボル はこの製品が家庭用廃棄物として処理できないかもしれないことを示しています。代わりに電気、電子器具のリサイクルのための適切なごみ集積場へ引き渡すことになります。

この製品を正しく廃棄することは、不適切な廃棄処理によってもたらされる環境と人の健康に対する悪影響を防止します。

この製品に対するさらに詳しいリサイクル情報については、地域の市役所、ごみ処理業者、あるいは製品を購入したお店にお問い合わせください。

Xelsis-B5.indd 54-55 10/05/25 1:20

保証書

- このサエコエスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- このサエコエスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。
  その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、5 年です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合せください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- 52 ページの記載に従って製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから下記へご連絡ください。

サエコサービスセンター
TEL：050-5525-7025

平日　　　：AM　9：00 ～ PM 18：00
土・日・祝日：AM 10：00 ～ PM 17：00

修理のご依頼は

- 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、52 ページの記載を事前にご確認ください。また、ご依頼の前に技術・流通センターへご相談されることをお薦め いたします。
- 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記までご送付ください。（宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様の ご負担となることをご了承ください）

サエコサービスセンター
〒 665-0823
兵庫県宝塚市安倉南 1-9-41
電話：050-5525-7025

修理依頼日	年　　月　　日	
ご依頼主	会社名／店舗名 ご担当者名（　　　）	
	住　所	
	電話番号	
	FAX番号	
マシン名	**Xelsis（エクセルシス）** シリアルNo.【　　　】	
故障状況	□ マシン下より水漏れ	□ お湯抽出せず
	□ 空気抜き表示解除できず	□ スチーム出ず
	□ 動作時異音	□ 適正温度待ち解除せず
	□ コーヒー抽出せず	□ グラインダー動かず
	□ 破損	
	□ その他（　　　）	
見積書提出	□ 要　／　□ 不要	
修理完了機のご返送先（ご依頼主と違う場合のみ）		
備　考		

技術データ

電源	100V　50/60Hz
消費電力	1200W
本体材料	ABS（熱可塑性プラスティック）とステンレス
サイズ（幅x奥行き × 高さ）	280 x 420 x 370 mm
重量	17 Kg
電源コードの長さ	1200 mm
コントロールパネル	正面
水タンク容量	1.6ℓ（取り外し可能）
ポンプ圧力（気圧）	15 気圧
ボイラー	ステンレススチール
コーヒー豆容器容量	350 g ／コーヒー豆
一杯あたりのコーヒー豆量	約7～ 10.5 g
コーヒーカス受け容量	15 杯
安全装置	ボイラ圧力安全弁、2重安全サーモスタット

本製品は家庭向けです。
改良のため、仕様および性能の一部を予告なく変更することがあります。
あらかじめ、ご了承ください。

このマシンは電磁適合性に関して欧州指針 89/336/EEC（イタリア政令 476 日付 04/12/92）の基準に適合しています。

日本サエコ株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-15-9 ブルーベルビル 2F
TEL.03-5436-7881　FAX.03-5436-78826
infor@saeco.co.jp　www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。
©Saeco International Group S.p.A .

2010. 05